

主な内容



インタビュー
座談会

動 向

論 評

レポート

レコーダ

座標潮流
News

各種調査結果や審議会・中医協などの動きを正確に伝えます

毎月3回
発行

仕様 B5判/約42頁1色
発行 毎月3回（1日、11日、21日）
年間購読料 39,600円(税込) 1冊1,100円(税込)
※2026年4月1日号以降、
年間購読料45,540円(税込) 1冊1,265円(税込)
※年間購読の場合、送料は無料です



電子版でも好評配信中

電子版のご利用には「[医書.jp](http://www.igaku.shoin.co.jp)」での会員登録・
購入手続きが必要です



社会保険旬報
@junpo1941

最新号の目次を公式SNSから確認



記事見本、購読のお申込み、見本誌のご請求は
<https://shop.shaho.co.jp/junpo/>
TEL 03-3252-7901 まで



株式会社 社会保険研究所 since 1941

| | | |
|----|-----------|--------------------------------|
| 東京 | 〒101-8522 | 千代田区内神田 2-15-9 The Kanda 282 |
| 中部 | 〒461-0001 | 名古屋市東区泉 1-13-36 パークサイド 1336 ビル |
| 関西 | 〒542-0012 | 大阪市中央区谷町 9-1-18 アクセス谷町ビル |
| 中国 | 〒730-0012 | 広島市中区上八丁堀 5-15 新沢ビル |

☎ (03) 3252-7901 FAX (03) 3252-7977
☎ (052) 951-0261 FAX (052) 951-5165
☎ (06) 6765-7836 FAX (06) 6765-8334
☎ (082) 223-2707 FAX (082) 223-2728

令和8年1月作成






令和 8 年 新刊・改訂

診療報酬点数表

関連図書のご案内

**オンライン
医科点数表の解釈
をリリースします!!**

 **「オンライン医科点数表の解釈」を令和8年秋以降に公開**します
 「医科点数表の解釈」(紙の本) **購入者のみが無料で**利用できる特典です
 点数表部分を中心に書籍の内容を**ウェブ上**で確認できるようになります
➡「オンライン医科点数表の解釈」の詳細は15頁をご確認ください

医科点数表の解釈

令和 8 年 6 月

オンライン版!

社會保障研究所

HOME
>
施設点数の概算
>
施設点数表編
>
施設点数補正点表
>
第1章 基本診療科
>
第1部 初・再診療
>
第2部 再 診 科
>
A002 外来診療科

目次

目次を開く

施設点数表編

施設点数補正点表

第1章 基本診療科

第1部 初・再診療

通 則

第1部 初 診 科

A000 初 診 科

第2部 再 診 科

A001 再 診 科

A002 外来診療科

第2部 入院科等

第2章 特定診療科

第1部 理学療法等

第2部 在宅医療

第3部 特 殊 科

2列

3列

更新履歴

A002 外来診療科

告示・点数

A002 外来診療科

76点

注1

許可医科の一般病床に係るものの数が200以上である保険医療機関において再診を行った場合に算定する。ただし、別添の厚生労働大臣が定める施設類型に適合しているものとして地方厚生局長が定める施設類型に適合しているものとして、別添の厚生大臣に届け出る保険医療機関において、情報通信機器を用いた再診を行った場合には、75点を算定する。

2

病院である保険医療機関（特定機能病院、地域医療支援病院及び外来機能型診療科等）（国定法第30条の18の4第1項第2号の規定に基づき、同法第30条の18の2第1項第1号

通知

（外来診療科について）

(1)

外来診療科は、医療機関別の機能分府の明確化、請求の簡素化を目的として設定されたものであり、一般病床の病床数が200以上の病院において算定する。

（留）

(2)

「注1」のただし書に規定する情報通信機器を用いた診療については、A000初診科の「情報通信機器を用いた診療」の取扱いと同様である。

（留）

(3)

「注2」又は「注3」に規定する保険医療機関において、病院と

QA・施設基準・その他

（外来診療科に関する事務連絡）

問

外来診療科は、119.22第3号は前部規定等算定が含まれているが、従来の「第2部 処置医療機能等加算」も含まれるのか。答

処置の部の「第2部 処置医療機能等加算」は外来診療科に含まれず別途算定である。

（平19.4.20 その7・問8）

（紹介状を持参しなかった患者の外来診療科に関する事務連絡）

問

どのような場合（に）地方厚生（支）局へ報告を行う必要があるのか。答

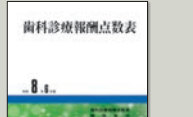

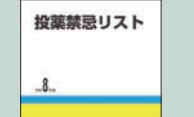

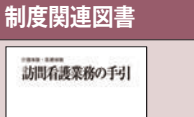


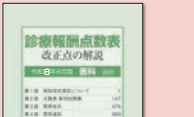

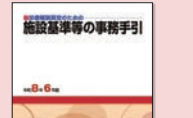



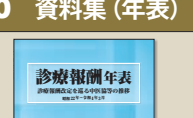



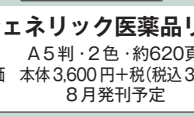



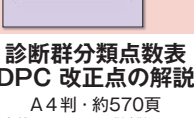


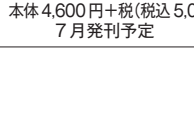
一般病床数が500以上の地域医療支援病院（一般病床が500以上の病院（一般病床が200未満の病院を除く。）（特定1特定機能病院、地域医療支援病院（一般病床の数が200未満の病院を除く。）、紹介受診地点医療機関（一般病床の

いろいろな機能で、知りたい情報をすばやく検索！

社会保険研究所

令和8年 診療報酬改定 ご案内図書一覧

※ 図書の表紙・内容見本はデザイン等を変更する場合があります。

| | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|---|--|
| <p>・令和8年度診療報酬改定に向けた議論</p> <p>・令和8年度診療報酬改定の基本方針の概要</p> <p>4</p> |  <p>12</p> |  <p>21</p> |  <p>25</p> |  <p>30</p> | <p>7 制度関連図書</p>  <p>34</p> |  <p>38</p> | <p>9 社会保険制度／診療報酬関連図書(既刊)</p>  <p>42</p> |
| <p>1 令和8年改定 改正点の解説</p>  <p>6</p> | <p>歯科診療報酬点数表</p> <p>B5判・約350頁</p> <p>定価 本体2,400円＋税(税込2,640円)</p> <p>4月上旬発刊予定</p> | <p>DPC 電子点数表</p> <p>診断群分類点数表のてびき</p> <p>A4判・約950頁</p> <p>定価 本体8,000円＋税(税込8,800円)</p> <p>6月発刊予定</p> | <p>投薬禁忌リスト</p> <p>B5判・2色・約630頁</p> <p>定価 本体4,400円＋税(税込4,840円)</p> <p>4月発刊予定</p> | <p>処置・手術と適応疾患 & 特定保険医療材料</p> <p>A5判・2色・約440頁</p> <p>定価 本体6,000円＋税(税込6,600円)</p> <p>7月発刊予定</p> | <p>訪問看護業務の手引</p> <p>B5判・約840頁</p> <p>定価 本体4,200円＋税(税込4,620円)</p> <p>6月発刊予定</p> | <p>レセプト作成テキストブック</p> <p>B5判・約500頁</p> <p>定価 本体4,000円＋税(税込4,400円)</p> <p>4月発刊予定</p> | <p>障害年金と診断書</p> <p>B5判・2色・約280頁</p> <p>定価 本体2,500円＋税(税込2,750円)</p> <p>6月発刊予定</p> |
| <p>診療報酬点数表 改正点の解説 (医科・調剤)</p> <p>B5判・約1,400頁</p> <p>定価 本体5,200円＋税(税込5,720円)</p> <p>3月発刊予定</p> |  <p>13</p> | <p>4 施設基準</p>  <p>22</p> |  <p>26</p> | <p>6 レセプト／カルテ関連</p>  <p>31</p> | <p>療養費の支給基準</p> <p>B5判・約600頁</p> <p>定価 本体3,600円＋税(税込3,960円)</p> <p>7月発刊予定</p> |  <p>39</p> | <p>10 資料集 (年表)</p>  <p>43</p> |
|  <p>8</p> | <p>薬価基準点数早見表</p> <p>A5判・約1,000頁</p> <p>定価 本体3,800円＋税(税込4,180円)</p> <p>3月発刊予定</p> | <p>施設基準等の事務手引</p> <p>B5判・約1,700頁</p> <p>定価 本体6,200円＋税(税込6,820円)</p> <p>7月発刊予定</p> | <p>保険薬事典 Plus⁺</p> <p>A5判・2色・約1,030頁</p> <p>定価 本体4,800円＋税(税込5,280円)</p> <p>3月発刊予定</p> | <p>診療報酬とカルテ記載</p> <p>B5判・2色・約430頁</p> <p>定価 本体4,500円＋税(税込4,950円)</p> <p>10月発刊予定</p> | <p>療養費の支給基準</p> <p>B5判・約600頁</p> <p>定価 本体3,600円＋税(税込3,960円)</p> <p>7月発刊予定</p> | <p>保険診療 基本法令テキストブック</p> <p>B5判・約280頁</p> <p>定価 本体2,800円＋税(税込3,080円)</p> <p>4月発刊予定</p> | <p>診療報酬年表</p> <p>B5判・192頁</p> <p>定価 本体9,000円＋税(税込9,900円)</p> <p>令和5年9月発刊</p> |
| <p>診療報酬点数表 改正点の解説 (歯科)</p> <p>B5判・約600頁</p> <p>定価 本体3,000円＋税(税込3,300円)</p> <p>3月発刊予定</p> | <p>3 点数表の解釈／DPC</p>  <p>14</p> |  <p>23</p> |  <p>27</p> | <p>新明細書の記載要領</p> <p>B5判・2色・約600頁</p> <p>定価 本体3,600円＋税(税込3,960円)</p> <p>5月発刊予定</p> | <p>8 学習書 (医療事務)</p>  <p>36</p> |  <p>40</p> |  <p>43</p> |
|  <p>9</p> | <p>医科点数表の解釈</p> <p>A4判・2色・約1,950頁</p> <p>定価 本体6,800円＋税(税込7,480円)</p> <p>6月発刊予定</p> | <p>看護関連施設基準・食事療養等の実際</p> <p>B5判・約1,500頁</p> <p>定価 本体5,200円＋税(税込5,720円)</p> <p>10月発刊予定</p> | <p>ジェネリック医薬品 リスト</p> <p>A5判・2色・約620頁</p> <p>定価 本体3,600円＋税(税込3,960円)</p> <p>8月発刊予定</p> | <p>新明細書の記載要領</p> <p>B5判・2色・約600頁</p> <p>定価 本体3,600円＋税(税込3,960円)</p> <p>5月発刊予定</p> | <p>医療DX キーワードと関連診療報酬 一問一答</p> <p>A5判・184頁</p> <p>定価 本体2,200円＋税(税込2,420円)</p> <p>1月発刊</p> | <p>DPCの基礎知識</p> <p>B5判・2色・約160頁</p> <p>定価 本体1,800円＋税(税込1,980円)</p> <p>6月発刊予定</p> | <p>薬事行政年表</p> <p>B5判・320頁</p> <p>定価 本体9,000円＋税(税込9,900円)</p> <p>令和5年9月発刊</p> |
| <p>2 令和8年改定 速報図書</p>  <p>10</p> | <p>歯科点数表の解釈</p> <p>A4判・約1,200頁</p> <p>定価 本体5,200円＋税(税込5,720円)</p> <p>6月発刊予定</p> | <p>5 薬価／医薬品／検査／特定保険医療材料</p>  <p>24</p> | <p>検査と適応疾患</p> <p>A5判・2色・約600頁</p> <p>定価 本体3,400円＋税(税込3,740円)</p> <p>5月発刊予定</p> | <p>保険者、公費負担者 番号・記号表</p> <p>B5判・約570頁</p> <p>定価 本体10,000円＋税(税込11,000円)</p> <p>5月発刊予定</p> | <p>医療情報 システム入門 第8版</p> <p>B5判・304頁</p> <p>定価 本体3,600円＋税(税込3,960円)</p> <p>1月発刊</p> |  <p>41</p> | <p>データベース商品</p> <p>44</p> |
| <p>医科診療報酬点数表</p> <p>B5判・本文2色・約1,100頁</p> <p>定価 本体3,100円＋税(税込3,410円)</p> <p>4月上旬発刊予定</p> | <p>調剤報酬点数表の解釈</p> <p>A4判・約1,070頁</p> <p>定価 本体4,800円＋税(税込5,280円)</p> <p>6月発刊予定</p> | <p>薬効・薬価リスト</p> <p>B5判・2色・約1,130頁</p> <p>定価 本体6,700円＋税(税込7,370円)</p> <p>4月発刊予定</p> | <p>特材算定ハンドブック</p> <p>A5判・4色・約500頁</p> <p>定価 本体5,400円＋税(税込5,940円)</p> <p>4月発刊予定</p> | <p>特材算定ハンドブック</p> <p>A5判・4色・約500頁</p> <p>定価 本体5,400円＋税(税込5,940円)</p> <p>4月発刊予定</p> | <p>医療情報 システム入門 第8版</p> <p>B5判・304頁</p> <p>定価 本体3,600円＋税(税込3,960円)</p> <p>1月発刊</p> | <p>事例で学ぶ 歯科レセプト 作成と点検</p> <p>B5判・2色・約420頁</p> <p>定価 本体4,600円＋税(税込5,060円)</p> <p>7月発刊予定</p> | <p>介護報酬・障害報酬 関連図書</p> <p>45</p> |
| | | | | | | <p>令和8年発刊予定一覧</p> <p>46</p> | |

令和8年度診療報酬改定に向けた議論

診療報酬・調剤報酬（以下、診療報酬）については、原則2年に一度（薬価は平成30年度からは毎年）大きな見直しが行われており、令和8年度は**診療報酬改定**の年となります。

診療報酬全体の増減については、内閣が来年度予算案とともに改定前年の12月に改定率を決定することとなっています。令和8年度改定率については、令和7年12月26日に診療報酬が+3.09%（令和8年度および令和9年度の2年度平均）、薬価・材料価格が計▲0.87%、全体では+2.22%となることが来年度予算案の一部として閣議決定されました。

なお、改定に当たっては、社会保障審議会医療保険部会および医療部会で改定の大きな枠組みとなる**基本方針**が、改定前年の12月上旬頃に決められます。中央社会保険医療協議会（中医協）では、その基本方針に基づいた個別具体的な議論を経て、改定年の2月上旬に答申が行われ、令和6年度診療報酬改定からは、**6月から新しい診療報酬が適用**されています。なお、**薬価改定は、今までどおり4月1日適用（材料価格は6月適用）**であることに注意が必要です。

今回の診療報酬改定では、**物価高騰・賃金上昇**、人口の減少、支え手が減少する中での人材確保の必要性など、医療機関等が厳しい状況に直面していることなどを踏まえた対応が求められています。令和7年12月9日に公表された基本方針においても、【重点課題】として「物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応」が掲げられています。

そのほか、改定の基本的視点と具体的方向性としては、「2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保、地域包括ケアシステムの推進」、「安心・安全で質の高い医療の推進」、「効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上」が挙げられています。

令和8年度診療報酬改定の基本方針の概要

改定に当たっての基本認識

- ▶ 日本経済が新たなステージに移行しつつある中での物価・賃金の上昇、人口構造の変化や人口減少の中での人材確保、現役世代の負担の抑制努力の必要性
- ▶ 2040年頃を見据えた、全ての地域・世代の患者が適切に医療を受けることが可能かつ、医療従事者も持続可能な働き方を確保できる医療提供体制の構築
- ▶ 医療の高度化や医療DX、イノベーションの推進等による、安心・安全で質の高い医療の実現
- ▶ 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和

改定の基本的視点と具体的方向性

(1)物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化への対応【重点課題】

【具体的方向性】

- 医療機関等が直面する人件費や、医療材料費、食材料費、光熱水費及び委託費等といった物件費の高騰を踏まえた対応
- 賃上げや業務効率化・負担軽減等の業務改善による医療従事者の人材確保に向けた取組
 - ・ 医療従事者の処遇改善
 - ・ 業務の効率化に資するICT、AI、IoT等の利活用の推進
 - ・ タスク・シェアリング／タスク・シフティング、チーム医療の推進
 - ・ 医師の働き方改革の推進／診療科偏在対策
 - ・ 診療報酬上求める基準の柔軟化 等

(3)安心・安全で質の高い医療の推進

【具体的方向性】

- 患者にとって安心・安全に医療を受けられるための体制の評価
- アウトカムにも着目した評価の推進
- 医療DXやICT連携を活用する医療機関・薬局の体制の評価
- 質の高いリハビリテーションの推進
- 重点的な対応が求められる分野（救急、小児・周産期等）への適切な評価
- 感染症対策や薬剤耐性対策の推進
- 口腔疾患の重症化予防等の生活の質に配慮した歯科医療の推進、口腔機能発達不全及び口腔機能低下への対応の充実、歯科治療のデジタル化の推進
- 地域の医薬品供給拠点としての薬局に求められる機能に応じた適切な評価、薬局・薬剤師業務の対人業務の充実化
- イノベーションの適切な評価や医薬品の安定供給の確保等 等

(2)2040年頃を見据えた医療機関の機能の分化・連携と地域における医療の確保、地域包括ケアシステムの推進

【具体的方向性】

- 患者の状態及び必要と考えられる医療機能に応じた入院医療の評価
- 「治し、支える医療」の実現
 - ・ 在宅療養患者や介護保険施設等入所者の後方支援機能（緊急入院等）を担う医療機関の評価
 - ・ 円滑な入退院の実現
 - ・ リハビリテーション・栄養管理・口腔管理等の高齢者の生活を支えるケアの推進
- かかりつけ医機能、かかりつけ歯科医機能、かかりつけ薬剤師機能の評価
- 外来医療の機能分化と連携
- 質の高い在宅医療・訪問看護の確保
- 人口・医療資源の少ない地域への支援
- 医療従事者確保の制約が増す中で必要な医療機能を確保するための取組
- 医師の地域偏在対策の推進 等

(4)効率化・適正化を通じた医療保険制度の安定性・持続可能性の向上

【具体的方向性】

- 後発医薬品・バイオ後続品の使用促進
- OTC類似薬を含む薬剤自己負担の在り方の見直し
- 費用対効果評価制度の活用
- 市場実勢価格を踏まえた適正な評価
- 電子処方箋の活用や医師・病院薬剤師と薬局薬剤師の協働の取組による医薬品の適正使用等の推進
- 外来医療の機能分化と連携（再掲）
- 医療DXやICT連携を活用する医療機関・薬局の体制の評価（再掲） 等

診療報酬点数表

改正点の解説 (歯科)

| | |
|---------|--------|
| 令和8年6月版 | 3月発刊予定 |
|---------|--------|

定価 本体 3,000 円 + 税 (税込 3,300 円) B5判 約600頁

ISBN978-4-7894-1067-0 C3047 ¥3000E

商品 No.100148



診療報酬点数表改正時に最も早く出る、歯科では唯一の市販解説書
新旧点数の対照表、改正関係告示・通知等を網羅

- 歯科医師会等の説明会においても使用される、**診療報酬改定に対応した速報版**です。
- 医療機関にとっては、**新しい診療報酬点数表の内容をいち早く把握**することによって6月1日の実施に向けた対応を始めるための必携の書となっています。保険者、審査機関、教育機関においても広く利用されています。

| 本書の構成（予定） | | |
|-----------|------------|--|
| 第1部 | 個別改定項目について | 主要歯科項目（抜粋） 等 |
| 第2部 | 点数表 新旧対照表 | Ⅰ．歯科診療報酬点数表 基本診療料／特掲診療料／経過措置 Ⅱ．療養担当規則 等 |
| 第3部 | 関係告示 | 厚生労働大臣が定める掲示事項等／基本診療料の施設基準等（抄）／特掲診療料の施設基準等（抄） 等 |
| 第4部 | 関係通知 | 診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について（抄）／基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて（抄）／特掲診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて（抄）／特定保険医療材料及びその材料価格（材料価格基準）の一部改正に伴う特定保険医療材料料（使用歯科材料料）の算定について 等 |

本書は、中央社会保険医療協議会資料および厚生労働省からの関係資料にもとづいて作成いたします。

主要歯科項目 Ⅱ-3-③ 周術期等専門的口腔衛生処置等の見直し

【Ⅱ-3 地域との連携を含む多職種連携の取組の強化 一③】

⑨ 周術期等専門的口腔衛生処置等の見直し

第1 基本的な考え方

化学療法や放射線療法等が行われている患者に対して、実施される周術期等口腔機能管理を推進する観点から、周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)の評価及び周術期等専門的口腔衛生処置に係る要件を見直す。

第2 具体的な内容

1. 周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)の評価を見直す。

2. 周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)を算定した患者に対して行われる周術期等専門的口腔衛生処置1の算定回数制限を見直す。

| 現 行 | 改定案 |
|--|--|
| 【周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)】 190点 | 【周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)】 200点 |
| 【周術期等専門的口腔衛生処置(1口腔につき)】 【算定要件】 注2 1について、区分番号B000-8に掲げる周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)を算定した患者に対して、歯科 | 【周術期等専門的口腔衛生処置(1口腔につき)】 【算定要件】 注2 1について 区分番号B000 |

第2章 特掲診療料 第1部 医学管理等

| 項 目 | 改 正 後 | 改 正 前 |
|-----------------------------------|--|---|
| B000 削除 B002-2 削除 B003-3 削除 | | |
| B000-4 歯科疾患管理料 | 100点 | |
| 【注の見直し】 | 注1 1回目の歯科疾患管理料は、歯科疾患の管理が実施された患者に限り、当該患者の既往歴等(以下この区において「患者等」という。)の同意を得て管理計画を作成し、その内容について説明を行った患者に算定する。なお、初診日の属する月から算定する場合は、前診日数の100分の80に相当する点数により算定する。 注2 2回目以降の歯科疾患管理料は、1回目の歯科疾患管理料を算定した患者に対して、注1の規定による管理計画に基づき継続的な管理を行っている場合であって、歯科疾患の管理及び療養に必要な事項を行うとともに、1回目の歯科疾患管理料を算定した日の属する月の翌月以降1月1日に算定する。 注3 区分番号B000-6に掲げる周術期等口腔機能管理料(Ⅰ)、区分番号B000-7に掲げる周術期等口腔機能管理料(Ⅱ)、区分番号B000-8に掲げる周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)、区分番号B002-1に掲げる歯科特定疾患療養管理料、区分番号C001-3に掲げる歯科疾患在宅療養管理料、区分番号C001-4に掲げる在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料、区分番号C001-6に掲げる小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料、区分番号C002-1に掲げる歯科矯正管理料を算定した患者に対して、当該管理の終了に療養上の必要があれば、歯科疾患の継続的な管理を行う場合は、区分番号B000-6(1)に算定する周術期等口腔機能管理料(Ⅰ)に | 注1 1回目の歯科疾患管理料は、 <u>継続的な歯科疾患の管理が実施された患者に限り</u> 、当該患者の既往歴等(以下この区分番号において「患者等」という。)の同意を得て管理計画を作成し、その内容について説明を行った場合に、初診日の属する月から算定して2月1日より1日に算定する。 注2 2回目以降の歯科疾患管理料は、1回目の歯科疾患管理料を算定した患者に対して、注1の規定による管理計画に基づき継続的な管理を行っている場合であって、歯科疾患の管理及び療養に必要な事項を行うとともに、1回目の歯科疾患管理料を算定した日の属する月の翌月以降1月1日に算定する。 注3 区分番号B000-6に掲げる周術期等口腔機能管理料(Ⅰ)、区分番号B000-7に掲げる周術期等口腔機能管理料(Ⅱ)、区分番号B000-8に掲げる周術期等口腔機能管理料(Ⅲ)、区分番号B002-1に掲げる歯科特定疾患療養管理料、区分番号C001-3に掲げる歯科疾患在宅療養管理料、区分番号C001-4に掲げる在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料、区分番号C001-6に掲げる小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料又は区分番号C002-1に掲げる歯科矯正管理料を算定した患者に対して、当該管理の終了に療養上の必要があれば、歯科疾患の継続的な管理を行う場合は、区分番号B000-6(1)に算定する周術期等口腔機能管理料(Ⅰ)に |

改正のポイントを
わかりやすく提示

診断群分類点数表

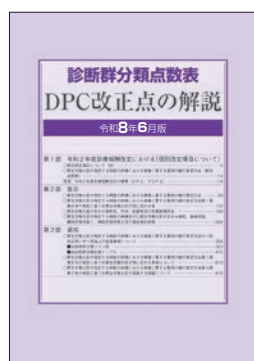
DPC 改正点の解説

| | |
|-------------|-----------|
| 令和 8 年 6 月版 | 4 月上旬発刊予定 |
|-------------|-----------|

定価 本体 6,500 円 + 税 (税込 7,150 円) A4判 約570頁

ISBN978-4-7894-1597-2 C3047 ¥6500E

商品 No.110892



診断群分類点数表改正に関する速報版
改正内容の概要から詳細な内容まで解説し、改正関係告示・通知等も網羅

- 各種団体の説明会においても使用される，診断群分類点数表改正に対応した速報版です。
- 改正の概要がわかる解説資料や告示，全診断群分類のツリー図と定義テーブルを含めた通知を収録いたします。

| 本書の構成（予定） | | |
|-----------|-----------------------------|--|
| 第1部 | 令和8年度診療報酬改定における「個別改定項目について」 | 個別改定項目について（抄）／厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法（新旧対照表） |
| | 参考 | 令和8年度診療報酬改定の概要（DPC／PDPS） |
| 第2部 | 告示 | 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法／厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第1項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者／厚生労働大臣が定める傷病名、手術、処置等及び定義副傷病名／厚生労働大臣が指定する病院の病棟並びに厚生労働大臣が定める病院、基礎係数、機能評価係数Ⅰ、機能評価係数Ⅱ及び激変緩和係数 |
| 第3部 | 通知 | 厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について／■全診断群分類ツリー図 ■全診断群分類定義テーブル／厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第1項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める者について／厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第5項第三号の規定に基づき厚生労働大臣が実施する調査について |

本書は、中央社会保険医療協議会資料および厚生労働省からの関係資料にもとづいて作成いたします。

[illegible]

歯科診療報酬点数表

| 令和8年6月版 | 4月上旬発刊予定 |
|------------------------------------|-----------|
| 定価 本体 2,400 円+税 (税込 2,640 円) | B5判 約350頁 |
| ISBN978-4-7894-1045-8 C3047 ¥2400E | |
| 商品 No.100079 | |



歯科診療報酬に的をしぼって収録したライトな一冊 今版から「施設基準」関係の掲載方法・掲載範囲を見直し、 算定に必要な情報にしぼって、点数表部分(右欄)に掲載

- 左欄には点数表を、右欄には項目ごとに算定上の要点・留意事項を掲載しています。視覚的に捉えやすい構成で、算定に必要な情報はひと目で確認できます。
- 前版までは「関係告示」に掲載していた「施設基準」の掲載方法と掲載範囲を見直し、今版からは掲載範囲を施設基準(告示)で規定される算定に必要な情報にしぼり、点数表部分(右欄)に他の規定と区別できるように掲載。算定に必要な情報をまとめて確認できるようにしています。
- 巻頭に区分番号レベルまで掲載した**詳細目次**を掲載して利便性の向上を図るとともに、点数表部分右欄の区分番号、見出しや加算対象の記載等をゴシック体にするなど、メリハリのある表記を目指して編集しています。
- 他にも巻末に点数表の項目から区分番号を検索できる「**50音索引**」を掲載しており、初めて算定にかかわる方にもわかりやすく、**入門書**としても最適の一冊です。
- 「**使用歯科材料**」等は定期的に見直しが行われますが、**ウェブサイト上に追補を掲載(無料)**して最新の情報をお届けします。
- 今版から、関連する別紙様式も掲載しています。

| 本書の構成(予定) | |
|------------------------------------|---|
| 第1章 基本診療料 第2章 特掲診療料 第3章 経過措置 | ・「歯科診療報酬点数表」は、左欄に点数表を、対応する右欄には算定上の要点・留意事項を掲載し、視覚的に捉えやすい構成が最大の特徴。施設基準(告示)で規定される算定に必要な情報も右欄に掲載。 |
| 別紙様式 | 点数表中に別紙様式の記述がある部分には掲載頁を掲載 |
| 関係告示 | 上記「点数表」とは別に、算定に必要な関係告示を収載。 |
| ※巻末に便利な「50音索引」を収載。 | |
| 点数表の項目から区分番号が検索できます。 | |

保険医療材料の点数を、左欄に点数表と区別できるように網かけて表示

施設基準(告示)で規定される算定に必要な内容を、右欄に他の規定と区別できるように網かけて表示

左欄に点数表、対応する右欄に算定上の要点・留意事項を掲載し、視覚的に捉えやすい構成

薬価基準点数早見表

| 令和8年4月版 | 3月発刊予定 |
|------------------------------------|-------------|
| 定価 本体 3,800 円+税 (税込 4,180 円) | A5判 約1,000頁 |
| ISBN978-4-7894-0236-1 C3047 ¥3800E | |
| 商品 No.120040 | |



薬価基準収載全医薬品を、50音順に配列し、薬価を表示 見やすくシンプルでひきやすい、実用早見表の決定版！

- 内用薬・注射薬・外用薬・歯科用薬剤の順番に、**商品名・薬価はもちろん、規格単位や製造・販売会社名等を一覧**できます。
- 診療報酬上評価される後発医薬品、使用期限別の経過措置品目の情報もひと目でわかる、**実用早見表の決定版**です。
- 一般名処方広がる中、配合剤についても一般的名称等を記載します！また、薬剤選択の参考となるよう同種同効品の代表的薬剤の名称も記載しています。
- 付録として薬効別分類号順に一覧できる薬効別分類表や繁多点数早見表も収録した納得の情報量です。薬効別分類表は刷新し、同種同効品の比較がよりしやすくなりました。
- 追補情報を**社会保険研究所ウェブサイト上で迅速・無料で掲載**しています(**薬価追補サービス**)。

注射薬では、薬価のみならず、注射料を含めた算定点数を表記

シンプルな記号・略号で、経過措置品目・先発/後発医薬品目・薬局方収載品目がひと目でわかる構成

備考欄には、薬効・慣用の略称・薬効分類番号等、豊富な情報を収載

薬価追補サービス

発刊後の追補情報を無料で提供！

薬効・薬価リスト

薬価基準点数早見表

保険薬事典Plus+

- 社会保険研究所ウェブサイトにて、上記書籍についての追補情報を掲載いたします(エクセルデータ)。ダウンロードもできます(無料)。
- あらかじめ登録いただきますと、掲載のたびに「お知らせメール」をお送りいたします。
- ご登録は無料です。登録、および登録の解除は随時受け付けます。
- 詳しくは、上記書籍をご覧ください。

追補情報の対象となるのは…
発刊後、官報の薬価基準告示で新たに収載された医薬品です
追補情報の掲載内容は…
新医薬品、報告品目、後発医薬品、経過措置品目等です
掲載項目は…
薬剤区分(内・外・注)、商品名、一般名、規格単位、薬価、会社名です
掲載日は…
官報告示後すみやかに掲載します
掲載回数は…
年間20~30件ほどです

医科点数表の解釈

| 令和 8 年 6 月版 | | 6 月発刊予定 |
|------------------------------------|---------------------------|----------------|
| 定価 | 本体 6,800 円+税 (税込 7,480 円) | A4判 2色 約1,950頁 |
| ISBN978-4-7894-1768-6 C3047 ¥6800E | | |
| 商品 No.110029 | | |



絶大なる信頼を得た点数表書籍のスタンダード！ 必要な情報を体系的に網羅し、抜群の正確さを誇る決定版 紙の本の購入者は「オンライン医科点数表の解釈」(秋以降公開予定)の利用が可能に！

- 本書は、類書中群を抜く正確さにより、各審査機関にも長年使用されている医療関係者必携の書となっています。
- 「オンライン医科点数表の解釈」の詳細については、次頁を参照。
- 本書を使用する方の視点に立ち、より理解しやすい配色を目指しています。
- 色をつけた部分には相応の意味をもたせ、視覚的に理解できるようになっています。
- 同一区分内の左欄と右欄の青色の網かけは対になっており、どこを見ればいいのか一目でわかります。
- 診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項も、各診療行為ごとに表示。他の規定と区別しやすいように、青字で表示しています。
- 小さな工夫を積み重ねながら、「使いやすさ」を追求。
- 区分番号レベルまで表示した目次や、豊富な50音索引で検索が容易です。
- 施設基準（告示・通知）や別紙様式には対応する区分番号を表示し、項目の検索が便利になっています。
- 法編では告示部分と通知部分が容易に区別できるように、別々のフォントを使用しています。
- 発刊後の内容変更等に対応する「Web追補」やその他の役立つコンテンツが充実！
- 「Web追補」は、常に最新の情報で実務を行っていただくために、発刊後の本書の内容に変更・訂正等が生じた場合に、原則として月1回、特別サイト「診療報酬関連情報ナビ」（すべて無料・18頁参照）にPDF形式で掲載します。
- 「診療報酬関連情報ナビ」には、本書発刊以後に発出された、診療報酬関連の最新情報（告示・通知等）を公布日（発簡日）順にリストアップしていく「診療報酬関連情報データベース」コーナーも設置し、情報をリアルタイムで提供していきます。

| 本書の構成（予定） | | | |
|-----------------------|--|--|--|
| 医科 点数表 編 | 医科診療報酬 点数表 | 第1章 基本診療料 第1部 初・再診療／第2部 入院料等 第2章 特掲診療料 第1部 医学管理等／第2部 在宅医療／第3部 検査／第4部 画像診断／第5部 投薬／第6部 注射／第7部 リハビリテーション／第8部 精神科専門療法／第9部 処置／第10部 手術／第11部 麻酔／第12部 放射線治療／第13部 病理診断／第14部 その他 第3章 介護老人保健施設入所者に係る診療料 第1部 併設保険医療機関の療養に関する事項／第2部 併設保険医療機関以外の保険医療機関の療養に関する事項 第4章 経過措置 | 「医科診療報酬点数表」は、左欄に告示を、対応する右欄には通知や関連するQ&Aなどを掲載し、視覚的に捉えやすい構成が好評。発簡番号も併記し、請求・審査の際に疑問点が生じても、明解な根拠がわかります。準用項目は点数表自体と区別し左欄に見出しをつけ、各項目ごとに経過措置を再掲するなど見落としのないように工夫。各種計画書や情報提供に係る様式などもすべて収載。診療報酬明細書の「摘要」欄への記載事項等に規定のあるものは、区分番号ごとにわかるように表示。 |
| | 別紙様式／特定保険医療材料に関する告示・通知／入院時食事療養及び入院時生活療養に関する告示・通知 | | |
| 診療 料に 関する 法編 | I 療養担当規則関係 | 療養担当規則はもちろん、請求・審査に必要な告示・通知等を体系的に収載。診療報酬の算定にあたって満たさなければならない施設基準や、実費徴収できる範囲など、点数表とは別に定められている重要な決まりごとや関連するQ&Aについて、確認が可能。告示と通知の違いがはっきりするようにレイアウトを工夫し、施設基準については項目の検索に便利なよう、点数表の区分番号を併記。 | |
| | II 基本診療料関係 | | |
| | III 特掲診療料関係 | | |
| | IV 医療保険と介護保険の給付調整 | | |
| 索引 | これらすべてを網羅した豊富な50音索引。頁上部での50音表示に加え、その頁の先頭と最後の項目のヨミ5文字を表示。 | | |

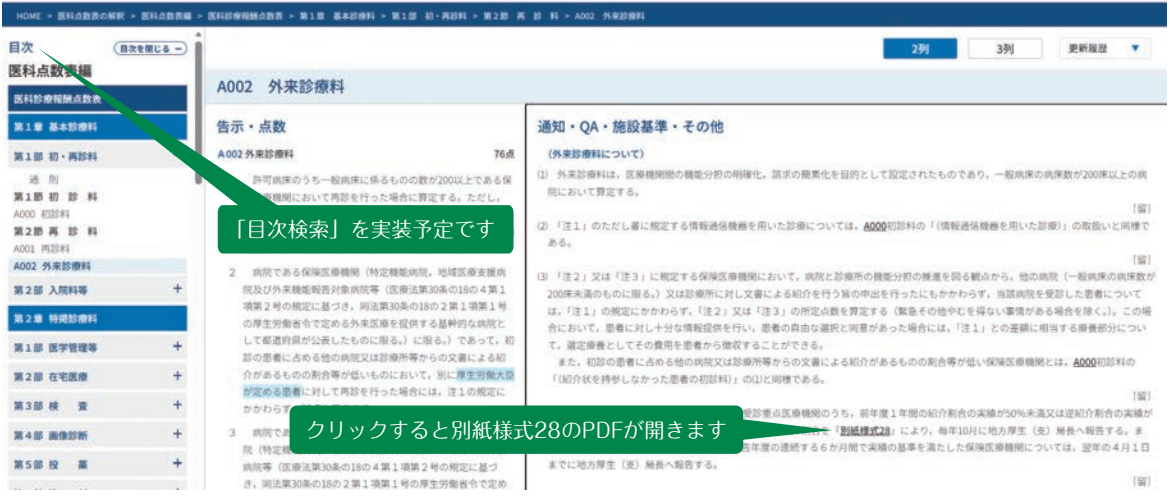
「オンライン医科点数表の解釈」のご案内

「オンライン医科点数表の解釈（令和8年6月版）」を令和8年秋以降に公開いたします。「医科点数表の解釈（令和8年6月版）」（紙の本に限りま）のご購入者にご利用いただけるサービスで、書籍の内容をウェブ上で確認できます。「令和8年6月版」では、書籍の「医科診療報酬点数表」の範囲がメインとなります。

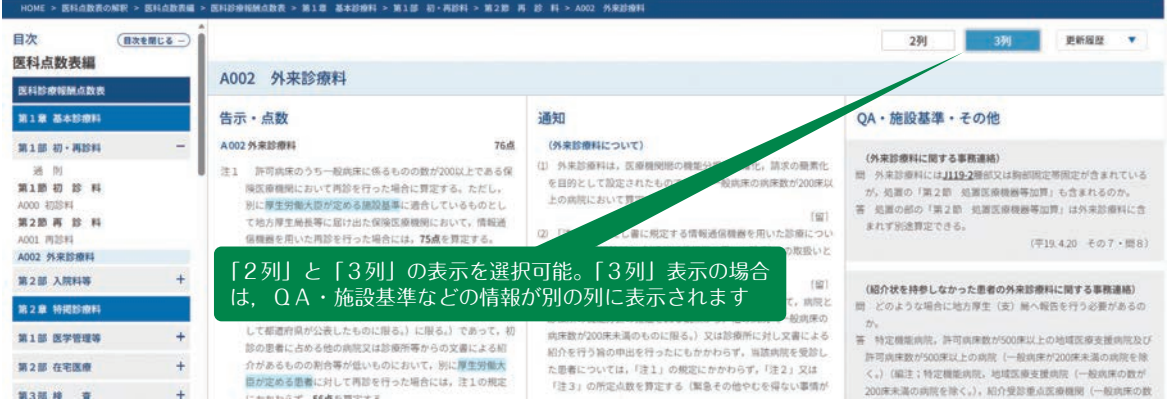
《「オンライン医科点数表の解釈（令和8年6月版）」とは？》

| | |
|-----------|--|
| ご利用いただける方 | 「医科点数表の解釈(令和8年6月版)」をご購入いただいた方がご利用可能です。 対象となるのは紙の本のみです。 ご注意ください。 |
| ご利用方法 | ご利用には書籍に記載されているシリアルコードを用いての会員登録が必要です。 書籍（紙の本）1冊のご購入につき、1アカウントの登録 が可能です。 ※「オンライン医科点数表の解釈」のアカウントのみの販売はございません |
| 特徴 | 「医科診療報酬点数表」の範囲 を、見本のように書籍と同じような体裁になるように開発中。それ以外の法令部分については、別形式での公開となる予定です。 |
| | 掲載内容は書籍と同じものとなり、抜群の正確さを誇る点数表を、ウェブ上で確認できます。 |
| | 書籍については、web追補を毎月公開して変更点をお示ししてきましたが、「オンライン医科点数表の解釈」についても、 月1回程度の更新を予定 しています。 |
| | 「全文検索」のほか、画面左側に「目次検索」を実装予定です。 |

【A002外来診療料の画面見本（2列）】（開発中の画面のため、実際の画面と異なる場合があります）



【A002外来診療料の画面見本（3列）】（開発中の画面のため、実際の画面と異なる場合があります）



312 第1部 医学書

B001-2 地域医療連携・体

1 地域連携小児科・体
2 地域連携小児科・体
注 別1「厚生労働省医政局のホームページ」に於ける「地方自治を促進する方向に医療機関間の連携を推進する取組の方向性」に照準し、入院中の患者に必要に応じて実施し、それを評価する。

視覚的に捉えやすい2色表示。次頁の「医科点数表編のみた」で色の使い方をご確認いただけます

① 医療機関間の地域の小児科を単に担当する医療者となつて、小児の医療活動の中心に、医療者を中心とする医療者となる。② ①は、夜間、休日又は深夜である。③ ①は、夜間、休日又は深夜である。④ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑤ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑥ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑦ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑧ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑨ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑩ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑪ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑫ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑬ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑭ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑮ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑯ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑰ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑱ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑲ ①は、夜間、休日又は深夜である。⑳ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉑ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉒ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉓ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉔ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉕ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉖ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉗ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉘ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉙ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉚ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉛ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉜ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉝ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉞ ①は、夜間、休日又は深夜である。㉟ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊱ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊲ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊳ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊴ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊵ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊶ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊷ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊸ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊹ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊺ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊻ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊼ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊽ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊾ ①は、夜間、休日又は深夜である。㊿ ①は、夜間、休日又は深夜である。

留意事項
療報酬明
録」を強
要領通知
いるし
の記事
記載

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞

[illegible]

8 目 次

目 次

医科点数表編

医科診療報酬点数表

第1章 基本診療料

| | |
|---------------|----|
| A001 内科診療料 | 41 |
| A002 外科診療料 | 43 |
| A003 産科診療料 | 43 |
| A004 小児科診療料 | 44 |
| A005 皮膚科診療料 | 44 |
| A006 泌尿器科診療料 | 45 |
| A007 消化器科診療料 | 45 |
| A008 眼科診療料 | 46 |
| A009 耳鼻咽喉科診療料 | 46 |
| A010 歯科診療料 | 47 |
| A011 眼科診療料 | 47 |
| A012 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A013 歯科診療料 | 47 |
| A014 眼科診療料 | 47 |
| A015 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A016 歯科診療料 | 47 |
| A017 眼科診療料 | 47 |
| A018 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A019 歯科診療料 | 47 |
| A020 眼科診療料 | 47 |
| A021 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A022 歯科診療料 | 47 |
| A023 眼科診療料 | 47 |
| A024 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A025 歯科診療料 | 47 |
| A026 眼科診療料 | 47 |
| A027 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A028 歯科診療料 | 47 |
| A029 眼科診療料 | 47 |
| A030 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A031 歯科診療料 | 47 |
| A032 眼科診療料 | 47 |
| A033 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A034 歯科診療料 | 47 |
| A035 眼科診療料 | 47 |
| A036 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A037 歯科診療料 | 47 |
| A038 眼科診療料 | 47 |
| A039 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A040 歯科診療料 | 47 |
| A041 眼科診療料 | 47 |
| A042 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A043 歯科診療料 | 47 |
| A044 眼科診療料 | 47 |
| A045 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A046 歯科診療料 | 47 |
| A047 眼科診療料 | 47 |
| A048 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A049 歯科診療料 | 47 |
| A050 眼科診療料 | 47 |
| A051 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A052 歯科診療料 | 47 |
| A053 眼科診療料 | 47 |
| A054 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A055 歯科診療料 | 47 |
| A056 眼科診療料 | 47 |
| A057 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A058 歯科診療料 | 47 |
| A059 眼科診療料 | 47 |
| A060 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A061 歯科診療料 | 47 |
| A062 眼科診療料 | 47 |
| A063 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A064 歯科診療料 | 47 |
| A065 眼科診療料 | 47 |
| A066 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A067 歯科診療料 | 47 |
| A068 眼科診療料 | 47 |
| A069 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A070 歯科診療料 | 47 |
| A071 眼科診療料 | 47 |
| A072 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A073 歯科診療料 | 47 |
| A074 眼科診療料 | 47 |
| A075 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A076 歯科診療料 | 47 |
| A077 眼科診療料 | 47 |
| A078 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A079 歯科診療料 | 47 |
| A080 眼科診療料 | 47 |
| A081 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A082 歯科診療料 | 47 |
| A083 眼科診療料 | 47 |
| A084 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A085 歯科診療料 | 47 |
| A086 眼科診療料 | 47 |
| A087 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A088 歯科診療料 | 47 |
| A089 眼科診療料 | 47 |
| A090 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A091 歯科診療料 | 47 |
| A092 眼科診療料 | 47 |
| A093 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A094 歯科診療料 | 47 |
| A095 眼科診療料 | 47 |
| A096 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A097 歯科診療料 | 47 |
| A098 眼科診療料 | 47 |
| A099 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A100 歯科診療料 | 47 |
| A101 眼科診療料 | 47 |
| A102 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A103 歯科診療料 | 47 |
| A104 眼科診療料 | 47 |
| A105 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A106 歯科診療料 | 47 |
| A107 眼科診療料 | 47 |
| A108 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A109 歯科診療料 | 47 |
| A110 眼科診療料 | 47 |
| A111 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A112 歯科診療料 | 47 |
| A113 眼科診療料 | 47 |
| A114 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A115 歯科診療料 | 47 |
| A116 眼科診療料 | 47 |
| A117 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A118 歯科診療料 | 47 |
| A119 眼科診療料 | 47 |
| A120 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A121 歯科診療料 | 47 |
| A122 眼科診療料 | 47 |
| A123 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A124 歯科診療料 | 47 |
| A125 眼科診療料 | 47 |
| A126 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A127 歯科診療料 | 47 |
| A128 眼科診療料 | 47 |
| A129 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A130 歯科診療料 | 47 |
| A131 眼科診療料 | 47 |
| A132 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A133 歯科診療料 | 47 |
| A134 眼科診療料 | 47 |
| A135 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A136 歯科診療料 | 47 |
| A137 眼科診療料 | 47 |
| A138 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A139 歯科診療料 | 47 |
| A140 眼科診療料 | 47 |
| A141 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A142 歯科診療料 | 47 |
| A143 眼科診療料 | 47 |
| A144 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A145 歯科診療料 | 47 |
| A146 眼科診療料 | 47 |
| A147 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A148 歯科診療料 | 47 |
| A149 眼科診療料 | 47 |
| A150 耳鼻咽喉科診療料 | 47 |
| A151 歯科診療料 | 47 |

| | | |
|--------|--------------|-----|
| A226-2 | 眼科科外診療料 | 141 |
| A226-3 | 有爪診療報酬科外診療料 | 142 |
| A226-4 | 小児眼科科外診療料 | 142 |
| A227 | 精神科臨床入院診療料 | 143 |
| A228 | 精神科臨床入院施設管理料 | 143 |
| A229 | 精神科臨床入院施設管理料 | 144 |
| A230-1 | 精神科臨床科外診療料 | 145 |
| A230-2 | 精神科臨床科外診療料 | 145 |
| A230-3 | 精神科臨床科外診療料 | 146 |
| A230-4 | 精神科臨床科外診療料 | 146 |
| A231-1 | 認知症療養入院施設管理料 | 147 |
| A231-2 | 認知症療養入院施設管理料 | 147 |
| A231-3 | 認知症療養入院施設管理料 | 147 |
| A231-4 | 認知症療養入院施設管理料 | 147 |
| A232 | 認知症療養入院施設管理料 | 148 |

点数表部分の目次は、詳細に区分番号レベルまで表示。区分的な把握や素早い検索が可能です

| | | |
|--------|--------------|-----|
| A233-1 | 認知症療養入院施設管理料 | 149 |
| A233-2 | 認知症療養入院施設管理料 | 149 |
| A233-3 | 認知症療養入院施設管理料 | 149 |
| A233-4 | 認知症療養入院施設管理料 | 149 |
| A234 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A235 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A236 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A237 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A238 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A239 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A240 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A241 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A242 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A243 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A244 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A245 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A246 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A247 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A248 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A249 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A250 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A251 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A252 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A253 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A254 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A255 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A256 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A257 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A258 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A259 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A260 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A261 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A262 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A263 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A264 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A265 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A266 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A267 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A268 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A269 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A270 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A271 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A272 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A273 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A274 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A275 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A276 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A277 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A278 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A279 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A280 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A281 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A282 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A283 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A284 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A285 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A286 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A287 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A288 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A289 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A290 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A291 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A292 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A293 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A294 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A295 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A296 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A297 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A298 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A299 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A300 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A301 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A302 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A303 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A304 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A305 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A306 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A307 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A308 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A309 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A310 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A311 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A312 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A313 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A314 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A315 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A316 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A317 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A318 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A319 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A320 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A321 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A322 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A323 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A324 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A325 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A326 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A327 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A328 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A329 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A330 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A331 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A332 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A333 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A334 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A335 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A336 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A337 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A338 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A339 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A340 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A341 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A342 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A343 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A344 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A345 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A346 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A347 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A348 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A349 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A350 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A351 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A352 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A353 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A354 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A355 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A356 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A357 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A358 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A359 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A360 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A361 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A362 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A363 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A364 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A365 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A366 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A367 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A368 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A369 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A370 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A371 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A372 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A373 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A374 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A375 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A376 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A377 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A378 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A379 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A380 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A381 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A382 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A383 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A384 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A385 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A386 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A387 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A388 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A389 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A390 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A391 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A392 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A393 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A394 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A395 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A396 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A397 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A398 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A399 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A400 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A401 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A402 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A403 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A404 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A405 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A406 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A407 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A408 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A409 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A410 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A411 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A412 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A413 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A414 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A415 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A416 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A417 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A418 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A419 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A420 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A421 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A422 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A423 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A424 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A425 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A426 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A427 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A428 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A429 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A430 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A431 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A432 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A433 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A434 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A435 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A436 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A437 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A438 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A439 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A440 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A441 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A442 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A443 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A444 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A445 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |
| A446 | 認知症療養入院施設管理料 | 150 |

[illegible]

Xでは医療図書のご案内や追補などの情報提供、その他
審議会などの情報をお知らせします。

『医科点数表の解釈』編集部
@ika_kaishaku
https://x.com/ika_kaishaku



■医科点数表編のみかた


各頁の左欄には、「診療報酬の算定方法」（点数表告示）による点数表をそのままの順番で掲載しています。

各頁の右欄には、左欄の点数表に対応する点数表告示以外の告示や通知、事務連絡（疑義解釈）等を適宜掲載。また、それらの根拠がわかるように、発番番号（記号）を併記しています。

A205-2 超急性期脑卒中加算（入院初日） 10,800点

注 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関に入院している患者（第1節の入院基本料（特別入院基本料等を除く。）又は第3節の特定入院料のうち、超急性期脳卒中加算を算定できるものを現に算定している患者に限る。）であって別に厚生労働大臣が定めるものに対して、組織スミノーゲン活性化因子を投与した場合又は施設基準に適合しているものとして地方厚生等に届け出た他の保険医療機関の外来において組織プラスミノゲン活性化因子の投与後にされ、入院治療を行った場合に、入院初日に所定点数に計算する。

ここではこれらが対になっており、右欄の青網かけ部分に具体的な内容（ここでは対象患者）が掲載されています。



算定に関する疑義解釈等の事務連絡については、網かけで該当する項目の右欄に掲載しています。なお、**施設基準に関連する事務連絡**については、法令編にてまとめて掲載しています。

K180 頭蓋骨形成手術【極新】

算定に関連する情報を記号・略号で表示しています。上の略号のように区分全体に付いている場合は、区分中全てのものに適用されます。また、下の略号のように個々の項目に付いている場合は、そのものだけに適用されることになります。**記号・略号の一覧**については、次頁をご覧ください。

| | | |
|---|------------------------|---------|
| 1 | 頭蓋骨のみのもの | 17,530点 |
| 2 | 硬膜形成を伴うもの | 23,660点 |
| 3 | 骨移動を伴うもの【 施基届 】 | 47,090点 |

注 3については、先天奇形に対して行われた場合に限り算定する。

K 282-2 後発白内障手術 1,380点

(後発白内障切開術 (観血的))

(超急性期脳卒中加算について)

超急性期脳卒中に当算は脳梗塞と診断された患者であって、発症後4.5時間以内に組織プラスミノゲン活性化因子を投与した患者に当算する。

右欄に掲載している告示や通知、事務連絡については、根拠確認できるよう発簡番号（記号）を併記しています。

梗塞を発症後4.5時間以内に「基本準に適合しているものとして地方組織プラスミノゲン活性化因子を投与した患者」に当算する。

入院初日に限り所定点数に当算する。

「日本脳神経科の施設基準等」別表第六の二に掲げる第二号又は医療法第30条の4第6項に定められ、かつ、同表第六の二に掲げる第一号に規定する区域に所在する医療機関と認められる同条第2項第2号に規定する区域に所在する医療機関の情報通信機器を用いて他の保険医療機関と連携し、診療を行うことを目的とする診療を行うことを定める「脳卒中診療における遠隔医療（テレメディスン）」の網かけ部分にその具体が記載されています。

的脳血栓回収術の適応の可否の判断における連携について協議し、手順書を整備した上で、対象となる患者について経皮的脳血栓回収術の適応の可否の判断についても助言を受けること。

② 投与に当たっては、日本脳卒中学会が定める「静注血栓溶解（rt-PA）療法適正治療指針」を踏まえ適切に行われるよう留意すること。

③ 均等なアクセス確保により日本脳卒中学会等の関係学会が行う脳血栓・t-PA適正使用に係る

(3) 組織プラスミド・ミューゲン活性化因子の投与に当たっては、必要に応じて、薬剤師、診療放射線技師又は臨床検査技師と連携を図ること。

(4) 組織プラスミド・ミューゲン活性化因子を投与した保険医療機関と投与後に入院で治療を行なった保険医療機関が異なる場合の当該診療報酬の請求は、組織プラスミド・ミューゲン活性化因子の投与後60日以内に診療行為の日数及び診療報酬額を通知する旨の診療情報提供書を送付すること。

国との交渉後に入院治療を行った保険医療機関で行うものとし、当該診療報酬の分配は相互の合議に委ねる。

(厚生労働大臣が定める施設基準〔注〕)

「診療方針に関する法令編」に掲載の「基本診療料の施設基準等」(平成20年3月厚生労働省告示第62号)の第八の六の三の(1)を参照。

(超急性期認定中加算の対象患者〔注〕)

基本診療料の施設基準等

第八 入院基本料等加算の施設基準等

六の三 超急性期脳卒中加算の施設基準等

(2) 超急性期脳卒中加算の対象患者

脳梗塞発症後4.5時間以内である患者

（平20. 3. 5 厚生労働省告示第62号）
（最終改正：令 6. 3. 5 厚生労働省告示第58号）

◆ K 939の「2」実物大臓器立体モデルによる画像等手術支援加算対象
（頭蓋骨形成手術に関する事務連絡）
先天奇形に対して眼窩上縁前術を行った場合、K 180頭蓋骨形成手術の「3」骨移植

動を伴うものを算定することができる。(平20. 7.10 その3・問22)

⑤ 先天奇形に対して Le Fort Ⅳ型骨切離による移動を行った場合、**K180**頭蓋骨形成手術の「3」骨移動を伴うものと**K443**上顎骨形成術の「3」骨移動を伴う場合をそれぞれ算定できるか。(平20. 7.10 その3・問23)

右欄で「◆」で示されているものは、告示等で定められている算定ルールを簡略表示したものです。
(上の「◆」は区分中全体に適用、下の「◆」は個々の項目のみに適用。)

準用項目については、他の項目と違いがわかるように『（ ）』で囲んで表示しています。

後発白内障切開術（観血的）はK282-2後発白内障手術に準じて算定する。

K476-4 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）【施基届】 25,000点

（ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）について）

- (1) 乳腺腫瘍患者若しくは遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術又は乳腺悪性腫瘍手術後の乳房再建術にゲル充填人工乳房を用いた場合に限り算定できる。
- (2) 乳腺腫瘍患者若しくは遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術又は乳腺悪性腫瘍手術後の乳房再建術を行う症例で、次のいずれかに該当した場合に限り算定できる。その際、次のいずれに該当するかを診療報酬明細書の摘要欄に記載する。
 - ア 一次一次的再建の場合
大胸筋が温存され皮膚欠損が生じない乳輪乳頭温存皮下乳腺全摘術を行った症例。ただし、乳腺悪性腫瘍術後の場合においては、術前診断において早期乳癌（Stage 0～ⅢA）で皮膚温潤～大胸筋温潤や高度のリンパ節転移を認めない。
 - イ 一時的にゲル充填人工乳房を用いた場合
診療報酬明細書（レセプト）や診療録（カルテ）への記載等に関する要件については、見落とさないように、『診療報酬明細書』は青ゴシックで、『診療録』は黒ゴシックで強調して表示しています。
 - ウ 二次的再建の場合
乳腺全摘術後で大胸筋が残存しており、初回手術で組織拡張器を挿入され十分に皮膚が拡張されているか、皮弁移植術などにより皮膚の不足が十分に補われている、あるいは十分に補われることが見込まれる症例。ただし、放射線照射により皮膚の血行や弾力性が障害されていないこと。
- （乳房切除術又は乳腺悪性腫瘍手術と乳房再建術を行う医療機関が異なる場合は、双方の持つ臨床情報、手術日、術式等を示す文書を相互に交付した上で、診療録に添付して保存する。
- (4) 当該手術を行う際には、関係学会が定めるガイドラインを遵守すること。

（診療報酬明細書「摘要」欄への記載事項）

【489】「（ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）について）」の(2)のウまでに規定するものの中から該当するものを選択して記載すること。

診療報酬明細書（レセプト）の「摘要」欄への記載が定められているものについて表示しています。詳細については下の「診療報酬明細書「摘要」欄への記載事項について」をご覧ください。

■診療報酬明細書「摘要」欄への記載事項について

「診療報酬請求書等の記載要領等について（記載要領通知）」の「別表Ⅰ」及び「別表Ⅲ」において特に診療報酬明細書（レセプト）の「摘要」欄への記載が定められているものについて、診療行為ごとに表示しています。「〔 〕」で囲んだ数字のみのものは「別表Ⅰ」における項番を表し、Ⅲに続けて数字を表示したものは「別表Ⅲ」における項番を表しています。なお、「別表Ⅲ」の項番に「※」を付したものは「別表Ⅰ」の記載事項と重複しているため、「別表Ⅲ」を用いた記載がされていればよく、「別表Ⅰ」を用いた記載は省略して差し支えないとされています。これらの項番の後に記載事項を示しています。「別表Ⅰ」において「紙レセのみ記載」とされている項目については、記載事項の最後に「〔 紅 〕」を附しています。レセプト電算処理システム用コード及び当該コードによるレセプト表示文言については省略しています。

診療報酬関連情報ナビ

「医科点数表の解釈」の無料サポートサービス

●「医科点数表の解釈」Web追補

○「医科点数表の解釈」の内容に変更等が生じた場合に、原則として月1回、追補をPDFにて掲載します。

●診療報酬関連情報データベース

○「医科点数表の解釈」発刊以後の診療報酬関連情報（省令・告示・通知・事務連絡）について、公布日（発簡日）順にリストアップしています。

○「区分」欄には種別ごとに色分けして掲載しています。

【省令（■）＝橙（■）＝青（■）＝通知（■）＝緑（■）＝事務連絡（■）＝赤（■）＝その他（■）＝黄（■）】

○「区分」欄は下記のカテゴリーに分けて表示しています。カテゴリーが複数にまたがるものはすべて表示しています。

| 点 数 | 診療報酬点数表関連（医科・歯科・調剤・施設基準・記載要領関連等を含む） |
|-------|-------------------------------------|
| 薬 剤 | 薬価基準関連等 |
| 材 料 | 特定保険医療材料関連等（特定診療報酬算定医療機器関連等を含む） |
| D P C | DPC / PDPS 関連等 |
| コロナ | 新型コロナウイルス関連（算定の特例、検査の適用等） |

■薬価基準改正関連、経過措置品目収載関連等における具体的な品目等については、「薬価追補サービス」を併せてご活用ください。

URL: <https://www.shaho.co.jp/publication/navi/>

歯科点数表の解釈

令和 8 年 6 月版

6 月発刊予定

定価 本体 5,200 円+税（税込 5,720 円）

A4判 約1,200頁

ISBN978-4-7894-1802-7 C3047 ¥5200E

商品 No.110220

歯科点数表の解釈

8.6

社会保険研究所

歯科診療報酬の算定・請求に必要な情報を徹底網羅

- 歯科の診療報酬の算定・請求に必要な情報を、実務上活用しやすいよう編集し、法令上の根拠とともに明示しました。
- 各審査機関にも長年使用されており、高い信頼性を誇ります。
- 令和2年版から判型をA4にリニューアル。さらに見やすく、使いやすくなりました。

本書の構成（予定）

| | |
|-----------------|---|
| | 歯科診療報酬点数表／疑義解釈資料（施設基準関連等、点数表内掲載になじまないQ&Aを一覧掲載） |
| 歯科点数表編 | ※このほか、関係する医科診療報酬点数表に加え、各種計画書や情報提供に係る様式、特定保険医療材料（歯科材料）・入院時食事療養等に関する告示・通知も掲載 |
| 診療方針に関する法令編 | 療養担当規則・施設基準・介護保険との調整など、点数表とは別に定められている重要な決まりごとを網羅。電子請求関連・レセプトの記載要領を含め、請求・審査に必要な告示・通知等を体系的に収載 |
| 診療に関する基本的な考え方等編 | 点数表の通知において参考することとされている基本的な考え方など、実地診療上直接関係深い日本歯科医学会発出の文書を分類して収載 |

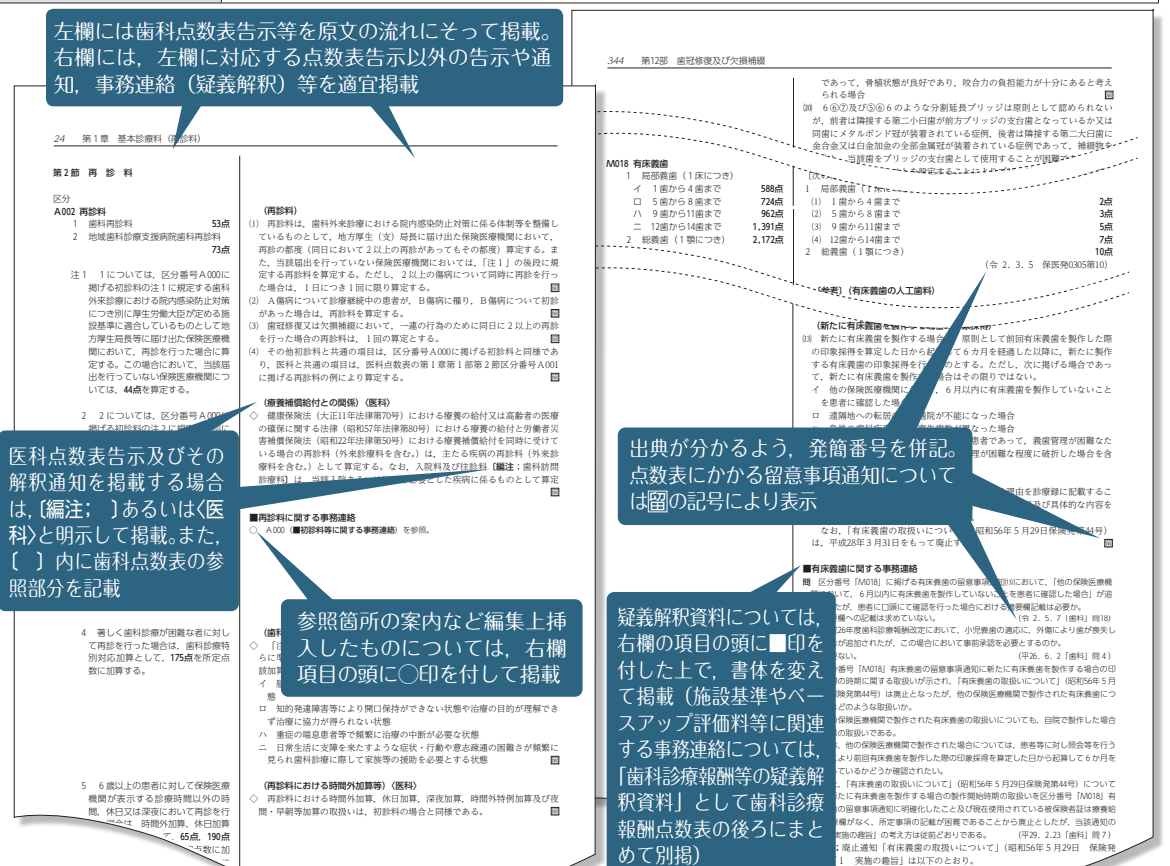
左欄には歯科点数表告示等を原文の流れにそって掲載。右欄には、左欄に対応する点数表告示以外の告示や通知、事務連絡（疑義解釈）等を適宜掲載

医科点数表告示及びその解釈通知を掲載する場合は、〔 編注 〕あるいは〔 医科 〕と明示して掲載。また、〔 〕内に歯科点数表の参照部分を記載

参照箇所の案内など編集上挿入したものについては、右欄項目の頭に○印を付して掲載

出典が分かるよう、発簡番号を併記。点数表にかかる留意事項通知については図の記号により表示

疑義解釈資料については、右欄の項目の頭に■印を付した上で、書体を変えて掲載（施設基準やベースアップ評価料等に関連する事務連絡については、「歯科診療報酬等の疑義解釈資料」として歯科診療報酬点数表の後ろにまとめて別掲）



診療報酬算定のための

施設基準等の事務手引

令和 8 年 6 月版

7月発刊予定

定価 本体 6,200 円+税 (税込 6,820 円) B5判 約1,700頁

ISBN978-4-7894-0333-7 C3047 ¥6200E

商品 No.130517



人員や設備・施設などの基準を整理しわかりやすく収載
施設基準を網羅，最適な算定をサポート

- 診療報酬には、一定の基準（施設基準）を満たし、届け出ることによって、はじめて点数が算定できる項目があります。本書は、この**施設基準の全内容**（医科・歯科・調剤の施設基準）を収載しました。
- 基本診療料、特掲診療料それぞれの施設基準を**項目別に収載**。関係する告示・通知・届出様式を整理して、わかりやすくまとめました。
- 取扱いがかわった箇所がわかりやすいように施設基準の実質的な追加・変更点を下線で明示しています。新しい施設基準は、わかりやすく[○]印をつけて明確にしました。
- 医科**のみならず、**歯科**と**調剤**に定められた施設基準についても収載、これ一冊で施設基準がすべてわかります。
- 自院の**最適な診療報酬算定**のための施設基準を知るために、ご活用ください。

| 本書の構成 (予定) | | |
|------------------|---|--|
| 基本診療料の施設基準等と診療報酬 | 通則事項 初・再診料 入院料等の通則 入院基本料 入院基本料等加算 特定入院料 短期滞在手術等基本料 歯科関連の基本診療料 | ●施設基準が設定されている項目ごとに、その要点と令和8年度改定での変更点を解説するとともに、該当する ①施設基準関係の告示・通知・届出様式 ②疑義解釈資料 ③診療報酬関係の告示・通知 ④その他の関係告示・通知・事務連絡 をまとめます。 |
| 特掲診療料の施設基準等と診療報酬 | 通則事項 医学管理等 在宅医療 検査 画像診断 投薬 注射 リハビリテーション 精神科専門療法 処置 手術 麻酔 放射線治療 病理診断 歯科 看護職員処遇改善、ベースアップ 調剤 | ●新設された施設基準には、項目ごとの見出しに◎と記します。 令和8年度改定で実質的な追加・変更があった部分には下線をつけて明示します。 |
| 索引 | | ●50音索引にくわえ、どこに様式があるか探しやすいよう様式一覧も掲載します。 |

看護関連施設基準・食事療養等の実際

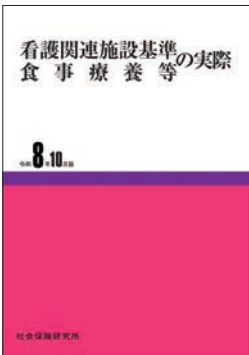
令和 8 年 10 月版

10月発刊予定

定価 本体 5,200 円+税 (税込 5,720 円) B5判 約1,500頁

ISBN978-4-7894-1729-7 C3047 ¥5200E

商品 No.140219



看護サービスにおける診療報酬での適切な評価・取扱いの情報を集成

- 医療機関の**経営管理者・看護師**等専門職を対象に、保険医療における**看護サービスの考え方と運用**を詳しく解説しています。
- 入院サービス提供の基本となる**看護サービスに関連する診療報酬の施設基準と食事の提供に関する情報**を集成しています。
届出から点数算定までを一連の流れで構成した、**実務重視**の編集です。
- 看護サービスや食事・栄養関連の診療報酬について歴史的経緯をふまえ、図表を用いわかりやすく解説している「総説」を掲載。「総説」を読み、さらに知りたい法令・通知等を読めるように編集しています。

| 本書の構成（予定） | | |
|------------------------------|---|--|
| 総説 | 診療報酬における入院医療と看護技術の評価 診療報酬における食事の評価 診療報酬請求に係る留意点 令和8年度改定に係る経過措置 | ●診療報酬上、看護サービスがどのような観点から評価されているかを解説しています。また、昭和33年（1958年）の「基準看護」設定以来の歴史の変遷を紹介したうえで、近年の改定についてはその趣旨も含めて詳述しています。 |
| 看護関連 施設基準等と 診療報酬 | 基本診療料（入院・看護関連） 特掲診療料（看護関連） | ●各項目のはじめに、成り立ちや改正のポイントなどを記述しています。 ●施設基準告示とその取扱い通知についてまとめています。告示・通知をあわせて読むことができますので、求められている基準がわかりやすくなっています。 |
| 入院時食事療養及び入院時生活療養 栄養関連診療報酬 | | ●算定のために必要な情報をまとめています。告示のほか、項目ごとに通知の記述について解説を加えているので、より理解が深まります。 ●栄養関連診療報酬では、諸規定について図とあわせて算定要件等をわかりやすく解説しています。 |

看護関連施設基準等と診療報酬

5-36 A2314 摂食障害入院医療管理加算

5-36 A2314 摂食障害入院医療管理加算

項目の要点を解説

摂食障害入院医療管理加算は、平成22年改定で新設された加算で、治療抵抗性を示すことのできる摂食障害に
 ついて必要な評価を行うものである。
 重度の摂食障害による著しい体重減少が認められ、BMI（Body Mass Index）が15未満の患者を対象とし、
 摂食障害の専門的治療を行う医師、臨床心理技術者を配置し、摂食障害の治療について一定の実績を有する
 病院4年改定では、後述等の医療従事者の柔軟な働き方に対応する観点から、医師については、週3日以上
 かつ2週2時間以上（令和2年改定で週2時間以上に改正）の勤務を行っている複数の非常勤職員を組合わせ
 た常勤換算でも配置可能とした（第53頁参照）。また、公認心理師に関する国家試験が開始されることを
 踏まえ、診療報酬上評価する心理職については経過措置を設けた上で、「公認心理師」に統一された。
 令和4年改定では、追加の実績要件における摂食障害の年間新規入院患者数を数にして、10人以上から1人
 以上に緩和された。

届出様式を掲載

施設基準 第八・二十六の三 摂食障害入院医療管理加算の施設基準等（平成22）

1) 摂食障害入院医療管理加算の施設基準
 摂食障害の診療を行うにつき必要な体制が整備されていること。

2) 摂食障害入院医療管理加算の対象患者
 重度の摂食障害により著しい体重の減少が認められる患者

施設基準上の規定を、告示・取扱い通知まとめて掲載

取扱い通知 別添3 第17の4 摂食障害入院医療管理加算

1 摂食障害入院医療管理加算の施設基準

- 摂食障害の年間新規入院患者数（入院期間が通算される再入院の場合を除く。）が1人以上であること。
- 摂食障害の専門的治療の経験を有する常勤の医師、管理栄養士及び公認心理師がそれぞれ1名以上当該
 施設医療機関に配置されていること。なお、摂食障害の専門的治療の実績を有する常勤の医師の配置につ
 いて、週3日以上常勤として勤務しており、かつ、所定労働時間が週2時間以上の勤務を行っている非常
 勤医師（摂食障害の専門的治療の経験を有する医師に限る。）を2人以上組み合わせることにより、常勤
 医師の勤務時間等と同一時間数にこれらの非常勤医師が配置されている場合には、当該基準を満たしてい
 ることとみなすことができる。
- 精神療法を行うために必要な面接室を有していること。

必要に応じて、摂食障害全国支援センター、摂食障害支援拠点病院又は精神保健福祉センターと連携す
 ること。

2 届出に関する事項
 摂食障害入院医療管理加算の施設基準に係る届出は、別添7の様式32の4を用いること。

令和4年改定

その1（令和4年3月31日・事務連絡（別添1・医科））
 附73 区分番号「A2314」摂食障害入院医療管理加算の
 施設基準における「摂食障害の年間新規入院患者数」に

について、「新規入院患者」は、当該加算の対象となる「摂食
 障害による著しい体重減少が認められる者」であり、
 BMI（Body Mass Index）が15未満の患者」である必要
 がある。
 併せて、そのとおり。

診療報酬（点数表と留意事項通知）

A2314 摂食障害入院医療管理加算（1日につき）

| | |
|--------------|------|
| 1）30日以内 | 200点 |
| 2）31日以上60日以内 | 100点 |

注 1 別に厚生労働省医政局及び施設基準課に適合
 しているものとして地方厚生局長等に届
 出た保険医療機関に入院している患者
 （第1節の入院基本料「摂食障害基本料等
 等（表）」又は第3節の入院医療料のうち、
 摂食障害入院医療管理加算を算定できるも
 のを現に算定している患者に限る。）であ
 りて別に厚生労働省医政局及び施設基準課に
 必要な届出をを行った場合には、入院し当該
 から起算して6日を標準として、当該患者の
 入院期間に応じ、それぞれ所定点数に加算
 する。

◇ 摂食障害入院医療管理加算について

- 摂食障害入院医療管理加算は、摂食障害の患者に対して、医師、
 看護師、精神保健福祉士、公認心理師及び管理栄養士による集
 約かつ多面的な治療が計画的に提供されることを評価したものである。
- 算定対象となる患者は、摂食障害による著しい体重減少が認めら
 れる者であり、BMI（Body Mass Index）が15未満であるもの
 をいう。

関連する診療報酬を掲載
 左欄に告示、右欄に関連する
 留意事項通知の要旨を配置

適応・用法付 薬効別薬価基準

保険薬事典 Plus⁺

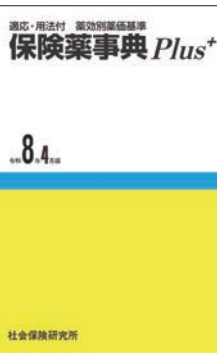
令和8年4月版

3月発刊予定

定価 本体 4,800 円+税 (税込 5,280 円) A5判 2色 約1,030頁

ISBN978-4-7894-2885-9 C3047 ¥4800E

商品 No.120663



同成分の各医薬品の適応・用法，薬価等の情報をひと目でチェックできる新定番書

- 薬価だけでなく，先発品と同成分の後発品がわかる！と評判の「保険薬事典」に，適応・用法をPlus⁺しました。
- 成分でまとめているため，同種同効品や先発品と適応の異なる後発品のチェックが簡単にできます。
- 薬価基準未掲載の**避妊剤**や**EOD治療剤**，**男性型脱毛症剤**，**放射性物質除去剤**など，注目の医薬品もPlus⁺収録しています。
- 見やすい2色刷りとし，レイアウトにもこだわって，パッと見て判別できる紙面です。
- 追補情報を**社会保険研究所ウェブサイト上で迅速・無料で掲載**しています（[薬価追補サービス](#)→13頁参照）。

本書の構成（予定）

- 投薬料点数早見表 ○注射料点数早見表 ○調剤報酬点数表
- 品目索引
- 本編：内用薬／注射薬／外用薬／歯科用薬剤
- 薬効分類目次／医薬品略名一覧／会社名一覧 等

適応や用法の分類が複数に及ぶ場合，①②といった書き分けて見やすく表記！

| | |
|--|--|
| ① ジピリダモール錠 100mg錠 5.90 ② ジピリダモール錠100mg「ツルハラ」* (鶴原) ③ ジピリダモール錠100mg「トーワ」* (東和薬品) ④ ジピリダモール錠100mg「JG」* (長生堂=日本ジェネリック) | ⑤ フローゼ症候群。⑥ (散・12.5mg錠：①，25mg錠：①～④，100mg錠：②③) (用法) ① 1回25mg (散：0.25g) 1日3回。② 1日300～400mg，分3～4。③ 1日500mg，分3 |
| ① 硝酸イソソルビド錠 5mg1錠 9.80 ② 硝酸イソソルビド徐放錠 20mg1錠 11.70 ③ 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「サワイ」* (沢井) ④ 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「ツルハラ」* (鶴原) ⑤ 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「トーワ」* (東和薬品) | ⑥ ニトロール錠5mg* (エーザイ) ① フランドル錠20mg* (トーアエイヨー) ② 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「サワイ」* (沢井) ③ 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「ツルハラ」* (鶴原) ④ 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「トーワ」* (東和薬品) |
| ⑤ 硝酸イソソルビド徐放錠 20mg1錠 11.50 ① ニトロールRカプセル20mg* (エーザイ) ② 硝酸イソソルビド徐放カプセル20mg「St」* (佐藤薬品=共和薬品=日医工) ③ 硝酸イソソルビド徐放カプセル20mg「ZE」* (全星=ファイザー) | ④ 下投与。狭心発作時は，1回5～10mg，舌下投与。(徐放剤) 1回20mg，1日2回。 ① コメリアンコワ錠50* (興和) |
| ⑤ ① 成人1回200mg (顆粒：0.5g，シロップ：2.5mL，DS：0.25g)，1日5回。小児1回20mg/kg (顆粒：0.05g/kg，シロップ：0.25mL/kg，DS：0.025g/kg)，1日4回。小児は1回最高 | |

診療報酬上の後発医薬品が，ひと目でわかる後マークに加え，先発品等を示すマークを詳細に設定！さらに使いやすくなりました

剤形や品目によって適応が異なる場合，マークで表記！

商品名・一般名からさがす

ジェネリック医薬品リスト

令和8年8月版

8月発刊予定

定価 本体 3,600 円+税 (税込 3,960 円) A5判 2色 約620頁

ISBN978-4-7894-2894-1 C3047 ¥3600E

商品 No.120623



保険医療機関がジェネリック医薬品を採用する際，必要となる情報をわかりやすくまとめた実用・専門書

●医療機関の方へ

【連想しやすい！】 覚えている商品名から，その成分グループにおける後発品の有無，後発品があるものであれば代表薬の名前がわかります。さらに詳しく知りたい場合，矢印にある一般名の掲載箇所をご覧ください。

【処方に便利！】 一般名処方を行う際，処方箋の種類の計算に使用できる最低薬価や，一般名の標準的記載が一目瞭然。

●保険者の方へ

【確認できる！】 一般名処方が可能な成分・規格グループがはっきりわかります。成分グループごとに適応・用法の違いが書き分けられており，適正使用の確認に役立ちます。

【差額表示でも便利！】 後発品を削形，規格別に薬価の高い順に表記，被保険者へ勧めやすい後発医薬品の目安となります。

●薬局の方へ

【備蓄薬剤の確認に便利！】 処方箋上に記載された一般名処方名から，個々の後発医薬品名がすぐに特定できます。

【選定療養の対象がわかる！】 選定療養の対象となる医薬品は，計算の目安となる各数値（「特別の料金」に係る費用，選定療養を除く保険対象となる費用）を記載しています。

【代替調剤に役立つ！】 今改定で基礎的医薬品となった品目であっても，それ以前に診療報酬上の後発医薬品を含むグループであれば掲載。その他の後発品と同様，同額以下で代替できる品目がすっきりわかります。

●長期収載品の選定療養の対象となる品目については，《例：〔選定〕 1/2×××円 〔保険算定〕 ×××××円》と表記しています（予定）。

本書の構成（予定）

- 薬効分類一覧 ○内用薬 ○注射薬 ○外用薬
- 附録 ◇ジェネリック医薬品に関するトピックス (初収載品目，AG，BS，ABS等) ◇屋号等一覧 ◇会社連絡先一覧 ◇商品名索引

| | |
|---|---|
| 普通 ① 40%1g (〔般〕アシクロビル顆粒40% → 加12) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ |
| ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ |

選定療養の対象品目には2分の1相当額，保険算定額を記載

一般名処方加算の対象となる品目群にはコードと一般名処方の標準的な記載を表示し，該当する加算に「加1」，「加12」を表記

AG : オートライズドジェネリック
 BS : バイオシミラー
 ABS : オートライズドバイオシミラー
 (基礎的) : 基礎的医薬品
 などの個別情報，適応・用法も掲載

保険診療

処置・手術と適応疾患&特定保険医療材料

令和 8 年 6 月版

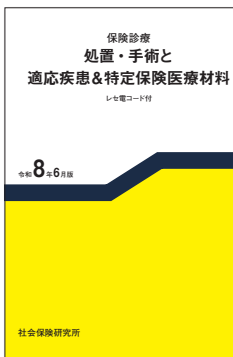
7月発刊予定

保険請求実務研究会

定価 本体 6,000 円 + 税 (税込 6,600 円) A5判 2色 約440頁

ISBN978-4-7894-0582-9 C3047 ¥6000E

商品 No.150802



処置・手術における適応疾患と使用する特定保険医療材料の情報を収録
エビデンスに基づいた保険請求に関連する情報をコンパクトにまとめた1冊!

- 医科診療報酬点数表「処置」、「手術」の部の項目に対し、区分番号ごとに「レセ電コード」、「主な適応疾患」、「使用する特定保険医療材料」を収録しました。
 - 特定保険医療材料については、使用量（目安）も併記しました。
 - 適応疾患および特定保険医療材料は、専門医による監修を受けて、エビデンスに基づいた情報を収録しています。
 - 告示・通知内容は、適応疾患、特定保険医療材料に関連するものを抜粋してコンパクトにまとめました。
- ※本書の内容は、[CSVファイル形式のデータベースでも販売しています（44頁参照）](#)。

本書の構成（予定）

- Ⅰ 処置：レセ電コード／レセ電名称／点数／適応疾患／特定保険医療材料および使用量／保険メ
Ⅱ 手術：レセ電コード／レセ電名称／点数／適応疾患／特定保険医療材料および使用量／保険メ
資 料 編：処置・手術通則，特材別表Ⅱ一覧，特材留意事項／索引

| I 処 置 | | Ⅱ 手術・療法 | |
|--|--|---|--|
| <p>一般処置</p> <p>J000 創傷処置</p> <p>1. 140000610 52点 創傷処置（100cm2未満）</p> <p>2. 140000710 60点 創傷処置（100cm2以上500cm2未満）</p> <p>3. 140000810 90点 創傷処置（500cm2以上3000cm2未満）</p> <p>4. 140000910 160点 創傷処置（3000cm2以上6000cm2未満）</p> <p>5. 140001010 275点 創傷処置（6000cm2以上）</p> <p>注3. 140057170 55点 6歳未満乳幼児加算（処置）（55）【5.のあ】</p> <p>注5 ① 切創、刺創、創、創、創、挫傷、擦過傷、咬創、鋭創、熱傷、凍傷、【特付218使用の場合】糖尿病足潰瘍、慢性静脈不全による難治性潰瘍</p> <p>注6 ① 101 皮膚欠損用創傷被覆材 真皮に至る創傷用、皮下組織に至る創傷用、標準型、皮下組織に至る創傷用、整形型、筋・骨に至る創傷用</p> <p>102 真皮欠損用グラフト</p> <p>103 非固着性シリコンガーゼ 広範囲熱傷用、平坦部位用、凹凹部位用</p> <p>105 デキストリノマー</p> <p>218 ヒト羊膜型用創傷被覆材</p> <p>保険外注 注1 1については、入院中の患者以外の患者及び手術後の患者（入院中の患者に限る。）についてのみに算定する。ただし、手術後の患者（入院中の患者に限る。）については手術日より起算して14日を限度として算定する。</p> <p>注4 ① 創傷処置 【J000.1】熱傷処置、【J000.2～4】凍傷処置及び【J005.1】皮膚科軟組織処置の各号に示す範囲とは、各号等で被覆すべき創傷部の広又は軟組織処置を行うべき広さをいう。</p> <p>注5 手術後の患者に対する創傷処置は、その回数にかかわらず、1日につき所定点数のみにより算定する。</p> <p>注7 中心静脈注、中心静脈注射、点滴注、</p> | | <p>中心静脈注射及び極細口径カテーテルによる中心静脈注射に係る穿刺部位のガーゼ交換等の処置材料及び材料は、別に算定できない。</p> <p>注8 ① 000 創傷処置 (1) 創傷処置とは、切・刺・創、創、鋭創に対して切創、鋭創又は縫合（ステープラーによる縫合を含む。）を行う場合の第1回治療のことであり、第2回目以降の手術創に対する処置は【J000】創傷処置により算定する。</p> <p>留K444 骨折非癒着の検査術 (3) 徒手で整復した骨折部位に対して2回目以降の処置を行った場合は、【J000】創傷処置における手術後の患者に対するものにより算定する。</p> <p>留K449 骨内異物（挿入物を含む。）除去術 (3) 鋭創、鋭創等での挿入に際して算定する場合は、【J000】創傷処置、【K000】創傷処置又は【K000-2】小児創傷処置の各区分により算定する。</p> <p>留K366 気管切開術 気管切開術後カニューレを入れた数日間の処置（単なるカニューレの清拭ではない）、【J000】創傷処置における手術後の患者に対するものにより算定する。</p> | |
| <p>J000-2 下肢創傷処置</p> <p>1. 140062110 135点 下肢創傷処置（足部（踵を除く）の浅い潰瘍）</p> <p>2. 140062210 147点 下肢創傷処置（足趾の深い潰瘍・踵部の浅い潰瘍）</p> <p>3. 140062310 270点 下肢創傷処置（足部（踵を除く）の深い潰瘍・踵部の深い潰瘍）</p> <p>注5 糖尿病足潰瘍、下肢静脈瘤性潰瘍、重症下肢虚血、閉塞性動脈硬化症、下肢閉塞性動脈硬化症</p> <p>注6 ① 00 合成吸収性癒着防止材 シート型、テープ型</p> | | <p>頭蓋、脳</p> <p>K145 穿頭脳室ドレーナージ術</p> <p>150066210 2,330点</p> <p>穿頭脳室ドレーナージ術</p> <p>注5 ① 頭症、脳膜炎、脳室出血、脳腫瘍、くも膜下出血、脳挫傷、外傷性くも膜下出血</p> <p>注6 ① 024 脳、脊髄腔用カニューレ 排液用・頭蓋内用（1本）、脳圧測定用（1本）</p> <p>078 人工骨 専用型・開頭穿孔術用（1個）</p> <p>注5 ① 2 当該手術は、初回手術に限り算定し、2回目以降の処置に係るドレーナージについては、【J002】ドレーナージ（ドレーナージ）により算定する。</p> <p>K145-2 皮下腔液貯留槽留置術</p> <p>150426210 5,290点</p> <p>皮下腔液貯留槽留置術</p> <p>注5 ① 頭症</p> <p>注6 ① 108 脳、静脈、腹腔シャントバルブ 標準・近位カテーテル・標準型（1本）、標準・近位カテーテル・内視鏡型（1本）、標準・リザーバー（1個）、標準・バルブ・圧固定式（1個）、標準・バルブ・流量調節・圧可変式（1個）、標準・コネクタ・ストレーツ（3.5個）、標準・コネクタ・スリウエイ（1個）、特殊（1個）</p> <p>K146 頭蓋開閉術</p> <p>150072010 37,310点</p> | |
| <p>適応疾患・使用する特定保険医療材料に関連する告示・通知の内容を抜粋して掲載</p> | | <p>当該診療行為に対する主な適応疾患、使用する可能性のある特定保険医療材料（使用量の目安）を掲載</p> | |
| | | <p>K147-2 頭蓋内モニタリング装置挿入術</p> <p>150411910 6,310点</p> <p>頭蓋内モニタリング装置挿入術</p> <p>注5 ① 脳損傷、脳挫傷、急性硬膜下血腫、くも膜下出血</p> <p>注6 ① 024 脳、脊髄腔用カニューレ 脳圧測定用（1本）</p> <p>13 血管内手術用カテーテル 汎用型圧測定用プローブ（手術用）</p> <p>K147-3 緊急穿頭血腫除去術</p> <p>15046310 10,900点</p> <p>緊急穿頭血腫除去術</p> <p>注5 ① 急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳出血</p> <p>注6 ① 024 脳、脊髄腔用カニューレ 排液用・頭蓋内用（1試験）</p> <p>K148 試験開頭術</p> <p>150067210 15,850点</p> <p>試験開頭術</p> <p>注5 ① 脳腫瘍</p> <p>注6 ① 060 固定用内割子（スクリュー）その他・標準・小型（12本）</p> <p>061 固定用内割子（プレート）その他・標準・バーボール型（3枚）</p> <p>078 人工骨 専用型・開頭穿孔術用（3個）</p> <p>K149 減圧開閉術</p> <p>1. 150335610 28,280点 減圧開閉術（キアリ奇形、奇態空腔症）</p> <p>2. 150067410 26,470点 減圧開閉術（その他）</p> <p>注5 ① アーノルド・キアリ奇形、奇態空腔症、【2】脳挫傷、脳挫傷、急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳梗塞、くも膜下出血、脳出血</p> <p>注6 ① ① ①</p> <p>060 固定用内割子（スクリュー）その他・標準・小型（12本）</p> <p>061 固定用内割子（プレート）その他・標準・バーボール型（3枚）</p> <p>078 人工骨 専用型・開頭穿孔術用（3個）</p> <p>084 人工硬膜 非吸収型（120cm²）、吸収型（125cm²）</p> <p>注2 ①</p> <p>024 脳、脊髄腔用カニューレ 排液用（皮下・硬膜外用（1本）、排液用・頭蓋内用（1本）、排液用・脊髄くも膜下腔用（1本）、脳圧測定用（1</p> | |

保険医療機関のための

診療報酬とカルテ記載

令和 8 年版

10月発刊予定

定価 本体 4,500 円+税 (税込 4,950 円) B5判 2色 約430頁

ISBN978-4-7894-0635-2 C3047 ¥4500E

商品 No.160605



診療報酬請求にカルテへの記載が求められている項目をすべて収載
チェックリストと具体的なカルテ例でわかりやすく解説

- 診療報酬を請求するためには、カルテに記載しなければならない、または完備しなければならないものがあります。これらは、点数表留意事項通知や施設基準通知、揭示事項通知などに規定されています。
- 本書は、算定するために「診療録（等）に記載（又は添付）しなければならない」と規定されている内容を抜粋し、チェックリスト、カルテ例などの付加情報を加えて編集しました。
- 点数表の項目順に、**項目の解説**、**規定**、**チェックリスト**と**カルテの記載例**を掲載しています。
- 新しく追加・改定された項目がわかるようにマーク**新改**で表示しています。

| 本書の構成（予定） | |
|----------------|--|
| 第1章 適切なカルテの重要性 | ○カルテ完備の必要性について法的根拠を踏まえて解説。公開されている指導・監査等の状況を掲載 Ⅰ カルテの意義と重要性 Ⅲ なぜ守らなければならないのか Ⅱ カルテに関する留意事項及びその法的根拠 Ⅳ 指導・監査等について |
| 第2章 保険医療機関の基本 | ○診療報酬以外の基本的事項について、個別指導の状況等を踏まえて解説 個別指導の状況等とポイント (1)標榜、掲示、(2)カルテの基本、(3)会計関連、(4)その他 |
| 第3章 診療報酬とカルテ記載 | ○「個別指導の状況等」とポイントを掲載 ○点数表の部ごとに留意事項通知等で「診療録等へ記載する、添付する」と定められている診療行為を抽出概要、規定【記載】【添付】、記載等のチェックポイント（チェックリスト）、カルテの記載例 |
| 付録 | ○レセプト記載要領のポイント（略号、摘要欄への記載事項）を掲載 |

24 第3章 基本診療科 第1部 初・再診療

| | | |
|------|-------|--------------|
| A000 | 初診科 | 情報通信機器を用いた診療 |
| A001 | 再診科 | 情報通信機器を用いた診療 |
| A002 | 外来診療科 | 情報通信機器を用いた診療 |

厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生(支)局長等に届出した保険医療機関において、厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に沿って情報通信機器を用いた診療を行った場合は、初診料又は再診料が算定できない¹⁾。

情報通信機器を用いた診療²⁾については、実施に当たってルールが規定されている。その内容を遵守して行うことが必要である。

■規定【記則】

●厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(以下「オンライン指針」という)に沿って情
報を、なお、この場合において、
療歴に記録する。

●情報通信機器を用いた診療を
実施するに、原則として、当
夜間や休日など、当該医療機
関は、患者が通常やかに受診で
きる前に受診可能と医療機関を重
視に記載しておく。

(f) 当該患者に「かかりつ
る医療機関名」を記載する。
(g) 当該患者に「かかりつ
る診療できない理由、適切な
方法などの指示」を記載する。

●情報通信機器を用いた診療を
い、オンライン診療に指針において
成した「オンライン診療の初
期ライン指針」に沿った適切な
情報提供に記録する。また、照
を、行い、一般に日本人と本邦
の医療を有する、当該患者が
を診療及び診療情報提供の責
任を負う。

■記載のポイント

- 診療内容、診療日及び診療
時間、オンライン診療に沿った適
切な情報提供を記載する。

●初診料
●再診料
●外来診療料

●初診料
●再診料
●外来診療料

○A000【E】ただし書き
○A001【E】ただし書き
○A002【E】ただし書き

概要と根拠となる
規定を掲載

●規定【記則】
●厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(以下「オンライン指針」という)に沿って情
報を、なお、この場合において、
療歴に記録する。

●情報通信機器を用いた診療を
実施するに、原則として、当
夜間や休日など、当該医療機
関は、患者が通常やかに受診で
きる前に受診可能と医療機関を重
視に記載しておく。

(f) 当該患者に「かかりつ
る医療機関名」を記載する。
(g) 当該患者に「かかりつ
る診療できない理由、適切な
方法などの指示」を記載する。

●情報通信機器を用いた診療を
い、オンライン診療に指針において
成した「オンライン診療の初
期ライン指針」に沿った適切な
情報提供に記録する。また、照
を、行い、一般に日本人と本邦
の医療を有する、当該患者が
を診療及び診療情報提供の責
任を負う。

■記載のポイント

- 診療内容、診療日及び診療
時間、オンライン診療に沿った適
切な情報提供を記載する。

●初診料
●再診料
●外来診療料

●初診料
●再診料
●外来診療料

●規定【記則】

●厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(以下「オンライン指針」という)に沿って情
報を、なお、この場合において、
療歴に記録する。

●情報通信機器を用いた診療を
実施するに、原則として、当
夜間や休日など、当該医療機
関は、患者が通常やかに受診で
きる前に受診可能と医療機関を重
視に記載しておく。

(f) 当該患者に「かかりつ
る医療機関名」を記載する。
(g) 当該患者に「かかりつ
る診療できない理由、適切な
方法などの指示」を記載する。

●情報通信機器を用いた診療を
い、オンライン診療に指針において
成した「オンライン診療の初
期ライン指針」に沿った適切な
情報提供に記録する。また、照
を、行い、一般に日本人と本邦
の医療を有する、当該患者が
を診療及び診療情報提供の責
任を負う。

■記載のポイント

- 診療内容、診療日及び診療
時間、オンライン診療に沿った適
切な情報提供を記載する。

●初診料
●再診料
●外来診療料

●初診料
●再診料
●外来診療料

●規定【記則】

●厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(以下「オンライン指針」という)に沿って情
報を、なお、この場合において、
療歴に記録する。

●情報通信機器を用いた診療を
実施するに、原則として、当
夜間や休日など、当該医療機
関は、患者が通常やかに受診で
きる前に受診可能と医療機関を重
視に記載しておく。

(f) 当該患者に「かかりつ
る医療機関名」を記載する。
(g) 当該患者に「かかりつ
る診療できない理由、適切な
方法などの指示」を記載する。

●情報通信機器を用いた診療を
い、オンライン診療に指針において
成した「オンライン診療の初
期ライン指針」に沿った適切な
情報提供に記録する。また、照
を、行い、一般に日本人と本邦
の医療を有する、当該患者が
を診療及び診療情報提供の責
任を負う。

■記載のポイント

- 診療内容、診療日及び診療
時間、オンライン診療に沿った適
切な情報提供を記載する。

●初診料
●再診料
●外来診療料

●初診料
●再診料
●外来診療料

●規定【記則】

●厚生労働省「オンライン診療の適切な実施に関する指針」(以下「オンライン指針」という)に沿って情
報を、なお、この場合において、
療歴に記録する。

●情報通信機器を用いた診療を
実施するに、原則として、当
夜間や休日など、当該医療機
関は、患者が通常やかに受診で
きる前に受診可能と医療機関を重
視に記載しておく。

(f) 当該患者に「かかりつ
る医療機関名」を記載する。
(g) 当該患者に「かかりつ
る診療できない理由、適切な
方法などの指示」を記載する。

●情報通信機器を用いた診療を
い、オンライン診療に指針において
成した「オンライン診療の初
期ライン指針」に沿った適切な
情報提供に記録する。また、照
を、行い、一般に日本人と本邦
の医療を有する、当該患者が
を診療及び診療情報提供の責
任を負う。

■記載のポイント

- 診療内容、診療日及び診療
時間、オンライン診療に沿った適
切な情報提供を記載する。

●初診料
●再診料
●外来診療料

●初診料
●再診料
●外来診療料

カルテ記載の重要性について、法的根拠も踏まえながら解説

地方厚生(支)局公開の個別指導の状況(全国)を掲載

●初診料
●再診料
●外来診療料

IV 指導・監査等について

1. 「指導」の対象はすべての保険医療機関及び診療科である。
2. 指導の対象は「施設基準」、「診療報酬」、「医療行為」、「診療内容」に関するものである。
3. 指導の対象は「診療報酬」に関する事項(1)から(4)までの事項である。
4. 「指導」の対象は診療報酬に関する事項(1)から(4)までの事項である。
5. 指導の対象は診療報酬に関する事項(1)から(4

介護保険・医療保険

訪問看護業務の手引

令和8年6月版

6月発刊予定

定価 本体 4,200 円+税 (税込 4,620 円) B5判 約840頁

ISBN978-4-7894-0464-8 C3047 ¥4200E

商品 No.140624



訪問看護ステーション必携 介護保険も医療保険も算定はこれでOK！

- 訪問看護ステーションが行う介護保険・医療保険の訪問看護業務の進め方をまとめました。
- ステーションの開設から、訪問看護の実施、費用の請求(レセプトの作成)まで、**図表を駆使してわかりやすく解説**しています。
- よく使う様式から根拠となる法令・通知まで、業務に**関連する資料を網羅した決定版**です。

本書の構成 (予定)

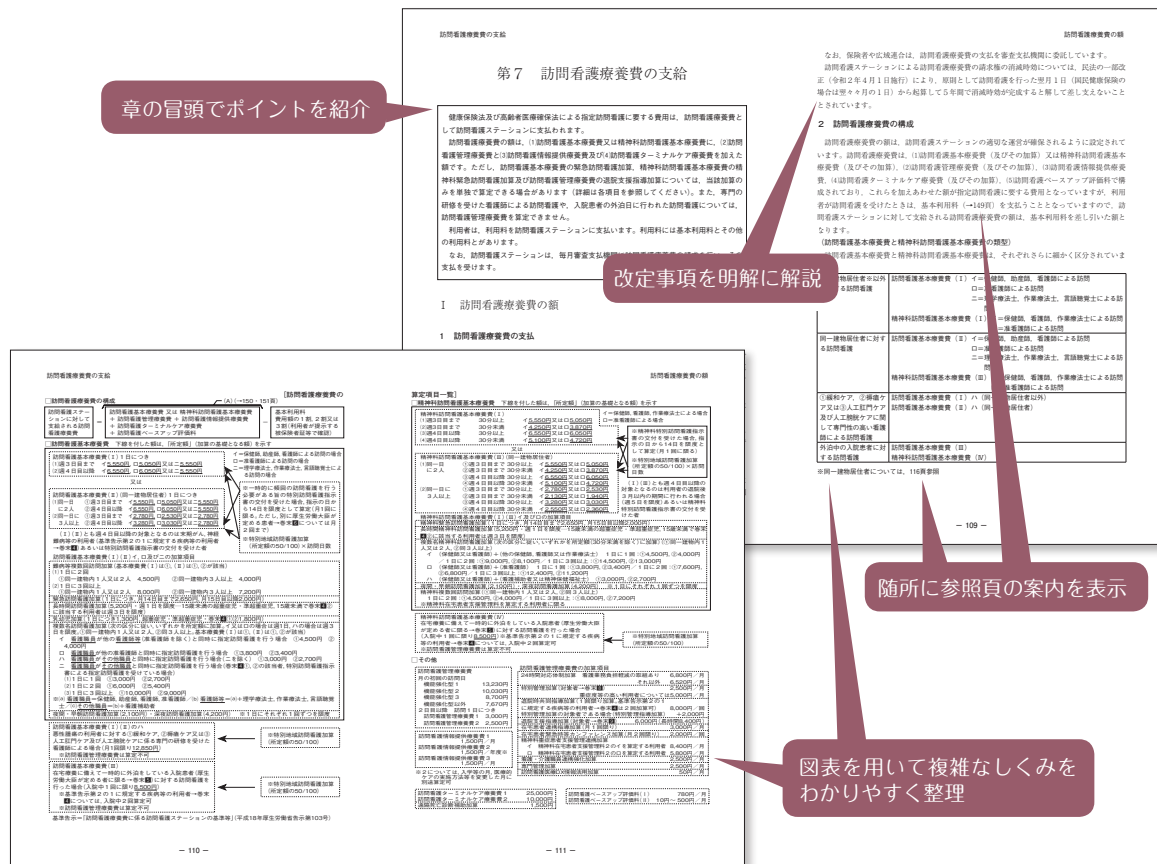
解説編

制度の概要／訪問看護ステーションの開設／事業者の指定／運営／介護給付費／訪問看護療養費／関連診療報酬／公費負担医療 等様式集

指定関係／運営関係／請求関係／公費等関係

関係法令・通知等

介護保険のあらまし／介護保険サービスコード表



療養費の支給基準

令和8年度版

7月発刊予定

定価 本体 3,600 円+税 (税込 3,960 円) B5判 約600頁

ISBN978-4-7894-0433-4 C3047 ¥3600E

商品 No.140433

療養費の支給基準

8年度版

社会保険研究所

各種施術機関や保険者、行政関係者に必携 6月施行の新しい施術料金・関係法令・通知、各種様式を収録 4月からの装具の価格改定にも対応しています
今回版からレイアウトを若干変更し、より見やすくなりました！

- 柔道整復（事実上現物給付）、あん摩・マッサージ・指圧、はり・きゅう、治療用装具、輸血用血液（生血）の**各種基準料金**とともに、療養費支給のための留意事項や疑義解釈など保険請求上の**手続きや取扱いを網羅**しています。

本書の構成 (予定)

第1 療養費について

第2 治療用装具の支給

■補装具の価格基準例

第3 柔道整復師の施術

第4 あん摩・マッサージ・指圧師の施術

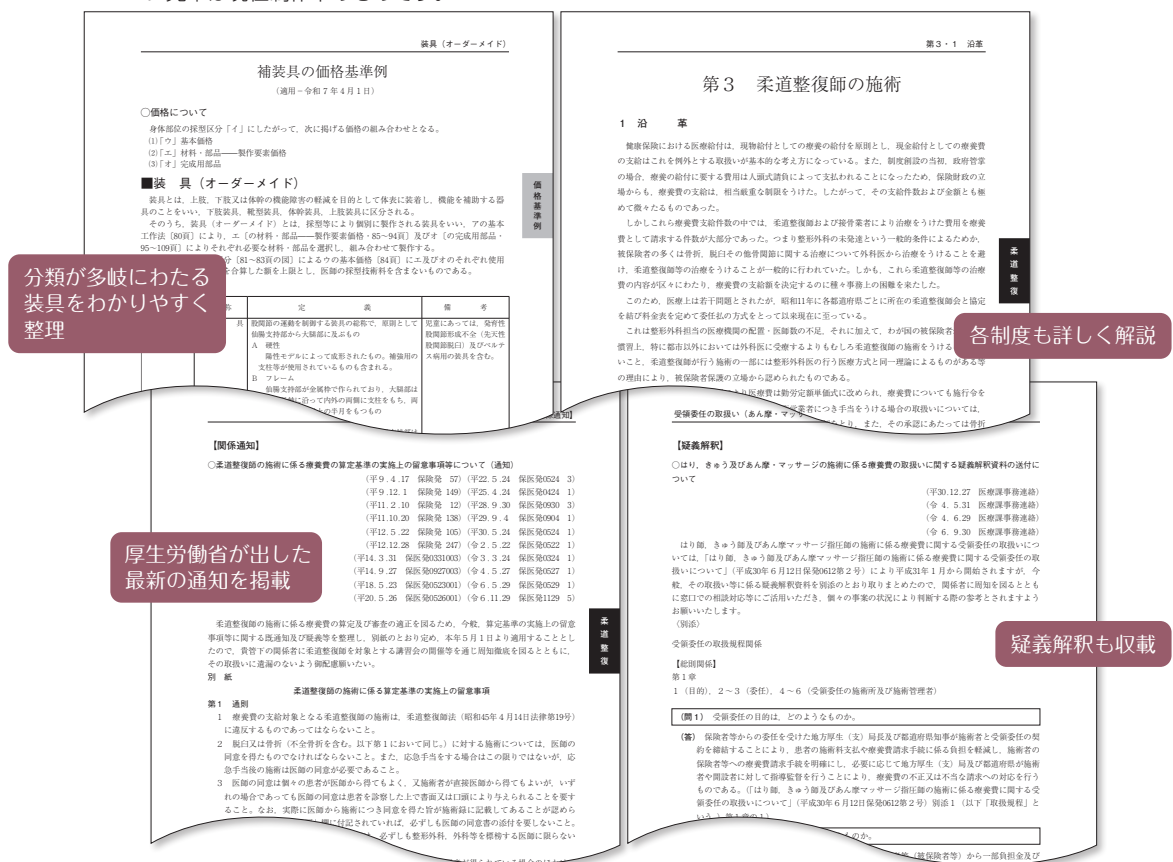
第5 はり師、きゅう師の施術

■あん摩・マッサージ・指圧師、はり師、きゅう師の施術に係る療養費に関する受領委任の取扱い

第6 生血代

第7 移送費

※ページ見本は現在制作中のものです。



医療DX キーワードと関連診療報酬 一問一答

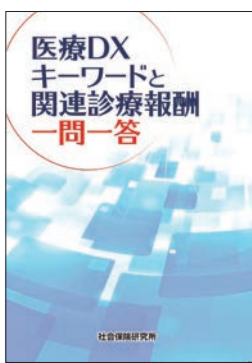
新刊

令和8年1月発行

定価 本体 2,200 円+税 (税込 2,420 円) A5判 184頁

ISBN978-4-7894-1625-2 C2047 ￥2200E

商品 No.160290



医療DXのキーワードと関連する診療報酬に特化した一問一答形式の解説書

- オンライン資格確認（オン資）は、令和3年10月から本格運用が開始され、令和5年4月の原則導入義務化により、現在ではほぼすべての医療機関・薬局において導入・運用が行われています。
- また、令和6年12月1日をもって従来の健康保険証の新規発行は終了しており、経過措置期間を経た令和7年12月2日以降は、マイナ保険証を原則とし、従来の健康保険証は使用できなくなっています（資格確認書等での運用はあり）。
- 電子処方箋は、令和5年1月から本格運用が開始され、以降、様々な機能が追加されているほか、電子カルテ情報共有サービスについては、令和7年2月3日から3医療機関でモデル事業が開始され、順次拡大されています。
- そのほか、算定共通モジュールや標準型電子カルテ、標準型レセコン等の開発も進められており、政府が目指す①全国医療情報プラットフォームの創設、②電子カルテの標準化等、③診療報酬改定DX等の施策が進められています。
- 本書では、これら医療DXに係るキーワードについて、一問一答形式で学べるものとし、さらに医療DXやICT分野（データ・デジタル・DPC関連を含む）に係る診療報酬についても同様に解説しています。
- 本書の内容については、原則、令和7年11月1日時点の情報に基づいていますが、医療法等の一部を改正する法律（令和7年12月12日法律第87号）など、12月中旬位の情報についても収載しています。なお、医療DXや診療報酬関連等の最新情報等については、X（アカウント名：『医科点数表の解釈』編集部(株)社会保険研究所@ika_kaishaku）でも発信しています（16頁参照）。

本書の構成

1章 医療DXキーワード

1. 医療DX概要

例：標準型電子カルテ/標準型レセコン/算定共通モジュール/ICT基金/PMH/NDB/G-MIS/介護情報基盤 など

2. オンライン資格確認関連

例：顔認証付きカードリーダー/資格確認書/資格情報のお知らせ/被保険者資格申立書/マイナ資格確認アプリ/災害時医療情報閲覧機能/救急時医療情報閲覧機能/マイナ在宅受付Web/マイナ救急/マイナ診察券/スマホ保険証 など

3. 電子処方箋関連

例：重複投薬等チェック/電子処方箋管理サービス/処方内容（控え）/HPK1カード/YJコード/ダミーコード など（導入補助等についても掲載）

4. 電子カルテ情報共有サービス関連

例：健康診断結果報告書/患者サマリー/FHIR など

2章 医療DX関連診療報酬

1. 医科診療報酬関連

例：マイナ保険証利用率/医療DX推進体制整備加算/在宅医療DX情報活用加算/往診時医療情報連携加算/D to P with N/オンライン診療/プログラム医療機器等指導管理料 など

2. DPC関連

例：A-DROPスコア/CCPマトリックス/コーディングデータ など

1 医療DX概要

Q009 【穴埋め問題】

◆電子カルテについては、「遅くとも2030年には概ね全ての医療機関において必要な患者の医療情報を共有するための電子カルテの導入を目指す」とこととされている。この目標達成に向け、【 】で、かつ、カスタマイズしている現行のものから、いわゆるクラウドネイティブを基本とする廉価なものへと移行することとされている。

解説

現在、電子カルテを既に導入している医療機関には、今回のシステム更改時に、電子カルテ情報共有サービスおよび電子処方箋に対応するシステム改修等を実施し、電子カルテ未導入の医療機関には、電子カルテ情報共有サービスおよび電子処方箋に対応できる標準化された電子カルテの導入を進めることとしている。

なお、この対象は医科診療所と病院となっており、歯科医療機関については、現場に求められる電子カルテ・電子処方箋の機能に關し、令和7度から検討を行い、令和8年度中に具体的な対応方針が決定される予定となっている。

また、「医療法等の一部を改正する法律（令和7年12月12日法律第87号）」において、「政府は、令和12年12月31日までに、電子カルテの普及率が約100%となることを達成するよう、（中略）医療機関の業務における情報の電子化を実現しなければならない」と規定された。

A009 【オープンレミス型電子カルテ】

24

医療情報システム入門 第8版

第8版

令和8年1月発行

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会 JAHIS 編

定価 本体 3,600 円+税 (税込 3,960 円) B5判 304頁

ISBN978-4-7894-2871-2 C3047 ￥3600E

商品 No.180707



基礎知識から最新動向（医療DX, データヘルス, オンライン資格確認, PHR, HL7 FHIR, etc.）まで、病院の情報システムがこの1冊でしっかりわかる！

- 医療情報システムの**第一線を担うSE執筆陣**が、最新の現状分析と将来展望を示した入門書です。
- 医療情報システムの全体構成**から始まり、電子カルテ、医事会計、セキュリティなどの**分野別のポイント**を経て、標準化等の**横断的テーマ**にいたるまで、政策・業務・技術動向を交え解説しています。見やすい図表、専門用語を解説した傍注、関連した話題についてのコラムなど、**初心者の方でも順を追って理解できるように構成**しました。
- 医療関係の方、医療分野の教員・学生、システム企業で医療分野に携わる方などに広くご利用いただけます。

本書の構成

| | | | |
|-----|------------------|------|----------------------------|
| 第1章 | 医療をめぐる動向ガイダンス | 第8章 | 医用画像システム |
| 第2章 | 医療機関における医療情報システム | 第9章 | 医療情報システムの患者安全に関するリスクマネジメント |
| 第3章 | 電子カルテシステム | 第10章 | プライバシーとセキュリティ |
| 第4章 | 医事会計システム | 第11章 | 地域医療システム |
| 第5章 | 部門システム | 付録 | 医療情報システムの標準化について |
| 第6章 | 院内物流システム | | |
| 第7章 | 検査システム | | |

1 部門システムとは

1-1.医療ITの発展推移（例1）

まず、各システムがどのように発展したのか、その遷移を説明する。

例として、1950年代頃から給与計算システムや経理システムなどが、自動計算による免注管理や在庫管理、生産管理のシステムなどが

医療請求を電子化し、まずは医事会計システムが作られた。同時に、

などを目的とした検査システムや検査部門システム、また、画像

放射線科情報システムなどの導入が進められた（第1世代）。

その後、電子カルテや診療予約システムや銀行のオンラインシステムなど、オ

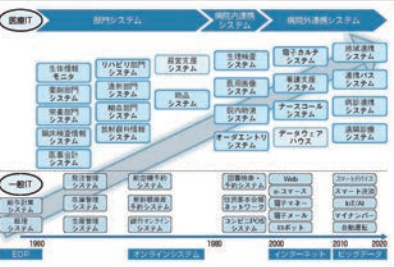
ンラインシステムの時代に入ると、1980年代にようやくオーダエントリス

テムが導入、病院で各システムが連携する仕組みが生まれた（第2世代）。

1990年代中頃からは電子カルテシステムの時代（第3世代）に、2000年代から

は地域連携システムなど、地域連携の時代（第4世代）へと発展していった。

図1-1-1一般ITと医療ITの発展推移



130

2 病院業務と情報システム

医事部門では診療した情報と連携することで医療費等の計算を行う。また、電子カルテシステムの情報は医療機関内部にとどまらず、地域連携システムとして、他の病院、診療所や健診センター等とつながっていくのである。

(2) 職種・部門に対応する情報システム

病院業務へのシステムの適用については、職種・部門に対応する情報システムとして次のように整理できる。

| 職種・部門 | 利用される主なシステム |
|---------|--|
| ①医師 | 電子カルテシステム、オーダエントリシステム、クリティカルパスシステム |
| ②看護婦 | 看護支援システム、勤務管理システム |
| ③薬剤師 | 調剤支援システム、薬品在庫管理システム、薬品情報システム |
| ④放射線技師 | 医用画像システム(PACS ^①)、放射線科情報システム(RIS ^②)、放射線レポートシステム |
| ⑤検査技師 | 臨床検査情報システム(LIS ^③)、臨床検査システム、病理情報システム |
| ⑥薬剤士 | 医薬品(薬)管理システム、医薬品管理システム |
| ⑦医事課職員 | 医事会計システム |
| ⑧看護・各現場 | 院内物流システム(SPD ^④) |
| ⑨総務・財務 | 経費支援システム、人事給与システム、財務会計システム |
| ⑩その他 | 健診・保健指導システム、リハビリテーションシステム、地域連携システム |

①PACS(Picture Archiving and Communication System)→180頁
②RIS(Radiology Information System)→180頁
③LIS(Laboratory Information System)→170頁
④SPD(Supply and Distribution)→170頁

(3) 医療情報の特性と形態

医療情報の特性としては、マルチメディアであるということがあげられる。

つまり、数値やテキスト、画像・動画といった多様な情報を取り扱うということである。たとえば、次のとおり、心音・脈音などの音情報や、脈波や心電図

またはシェーマ^①といった図形・波形情報、デジタル画像や動画情報、治療や教育で用いられる知識情報なども取り扱っている。

| | |
|-----------|---------------------------------|
| コード/マスタ情報 | 患者ID、住所、検査名、薬品名、手術術式、病名など |
| 検査情報 | 身長、体重、年齢、血圧値、検査結果値、薬品処方量、放射線量 |
| 診療情報 | 心音、脈音 |
| テキスト・観念情報 | 診察記録、患者の主治、問診、身体所見、診断過程、治療計画 |
| 図形・波形情報 | 心電図、心電図、脈波、脈波 |
| 画像・動画情報 | X線写真、CT画像、内視鏡画像、皮膚科画像、病理画像 |
| 知識情報 | 3次元CT立体画像、バーチャルリアリティ型3次元画像 |
| 診断的知識 | 診断的知識、治療の知識、ガイドライン、フローチャート、教育情報 |

①シェーマ：図形、特定の点と線、特定の線、特定の図形の組み合わせで構成される主にイラスト図、電子カルテ上で、診断書の記載内容のみに用いられるイラスト画像。

わかりづらい専門用語は傍注で丁寧に解説

点数表の基本とレセプト記載の原則

〈医科〉

レセプト作成テキストブック

令和8年6月版

4月発刊予定

定価 本体 4,000 円+税 (税込 4,400 円) B5判 約500頁

ISBN978-4-7894-0931-5 C3047 ￥4000E

商品 No.180128



レセプトの作り方から医療事務を学ぶ一冊です

- まず医科点数表の基本を確実に理解してから、次にカルテをもとにレセプトを作成する方法を学ぶ構成になっています。
- 段階を踏んだ着実な構成で、医療機関や専門学校における**レセプトの理解および作成のための学習書**として最適です。

本書の構成（予定）

参考資料 医療保険制度一覧／公費負担医療制度一覧／入院時食事療養費・入院時生活療養費一覧／自己負担限度額表

第1章 保険請求事務の基礎知識

- ・窓口事務から診療報酬の請求・支払いのしくみ、レセプト作成の位置づけを説明

第2章 基本診療料

- ・基本診療料について、算定およびレセプト記載の要点を解説
- ・算定練習とレセプト記載例

第3章 特掲診療料

- ・特掲診療料について、算定およびレセプト記載の要点を解説
- ・算定練習とレセプト記載例

第4章 レセプト作成

- ・カルテ例（外来・入院・後期高齢者）から1件の完全なレセプトを作成。演習形式でポイントを押さえた学習が可能

算定の原則－③

1 個病の診療継続中に他の個病が発生して初診を行った場合に発生した個病についての初診料は算定できません。

算定するための原則を学習

欄外に学習に役立つ情報を掲載

練習問題で点数算定を習得

算定の条件と点数が理解できたら算定の練習

保険医療機関の診療時間及び休診日は、次のように設定しました。

診療時間 AM 9:00～PM 6:00
休診日 日曜日・祝日・水曜日

例1 令和4年4月5日（火）初診（28歳）AM10:00 病院

診療時間 28歳

レセプトを書いてみよう

52頁・53頁の算定練習の例1～例6をレセプトに記載してみましょう
（※52頁・53頁の欄外について、紙のレセプトの場合は省略可（以下、本書のレセプト記載において同様））

令和4年4月5日（火）初診（28歳）AM10:00 病院

令和4年4月5日（火）初診（3歳）AM10:00 クリニック

図表を使って算定を理解

カルテからレセプトを作成（第4章）

医療保険制度の概要と関係法令

〈医科〉

保険診療 基本法令テキストブック

令和8年4月版

4月発刊予定

定価 本体 2,800 円+税 (税込 3,080 円) B5判 約280頁

ISBN978-4-7894-0908-7 C3047 ￥2800E

商品 No.180328



保険診療・請求事務に必要な基礎知識をこの1冊に凝縮 医療機関におけるさまざまなスタッフ向けのテキストとして好評です

- 保険診療・請求事務に必要な基礎知識や診療報酬の請求・支払いのしくみ等をコンパクトにわかりやすく解説しています。

本書の構成（予定）

第1章 医療保険制度の概要

- 1.医療保険制度 2.被用者保険 3.国民健康保険 4.後期高齢者医療 5.医療保険関係法規

第2章 公費負担医療制度の概要

- 1.公費負担医療制度 2.その他の医療保障制度

第3章 保険医療機関と保険医

- 1.保険医療を行う医療機関と医師
- 2.保険医療機関の指定と保険医の登録
- 3.保険診療に係る施設基準等

第4章 療養担当規則

- 1.保険診療の方針と診療録の作成
- 2.保険医療機関の責務

第5章 診療報酬請求と審査制度

- 1.保険診療のしくみ 2.診療報酬の請求 3.総括 4.診療報酬の審査制度

第6章 医療関係法規

- 医療法・医師法等、関係法令の関連部分を抜粋
〈参考〉介護保険制度
- 1.介護保険制度の概要 2.医療機関と介護保険

10 第1章 医療保険制度の概要

11 医療保険制度のあらまし (その1)

12 医療保険制度のあらまし (その2)

13 医療保険制度のあらまし (その3)

14 医療保険制度のあらまし (その4)

15 医療保険制度のあらまし (その5)

16 医療保険制度のあらまし (その6)

17 医療保険制度のあらまし (その7)

18 医療保険制度のあらまし (その8)

19 医療保険制度のあらまし (その9)

20 医療保険制度のあらまし (その10)

21 医療保険制度のあらまし (その11)

22 医療保険制度のあらまし (その12)

23 医療保険制度のあらまし (その13)

24 医療保険制度のあらまし (その14)

25 医療保険制度のあらまし (その15)

26 医療保険制度のあらまし (その16)

27 医療保険制度のあらまし (その17)

28 医療保険制度のあらまし (その18)

29 医療保険制度のあらまし (その19)

30 医療保険制度のあらまし (その20)

31 医療保険制度のあらまし (その21)

32 医療保険制度のあらまし (その22)

33 医療保険制度のあらまし (その23)

34 医療保険制度のあらまし (その24)

35 医療保険制度のあらまし (その25)

36 医療保険制度のあらまし (その26)

37 医療保険制度のあらまし (その27)

38 医療保険制度のあらまし (その28)

39 医療保険制度のあらまし (その29)

40 医療保険制度のあらまし (その30)

41 医療保険制度のあらまし (その31)

42 第1章 医療保険制度の概要

1 健康保険法（抄）

（目的）

第1条 この法律は、労働者又はその被扶養者の業務災害（労働者災害補償保険法（昭和22年法律第50号）第7条第1項第一号に規定する業務災害をいう。）以外の病、負傷若しくは死亡又は出産に関しして保険給付を行い、もって国民の生活の安定と福祉の向上に寄与することを目的とする。

（基本理念）

第2条 健康保険制度については、これが医療保険制度の基本となるものであることにかんがみ、高齢化の進展、疾病構造の変化、社会経済構造の変化等に対応し、その他の医療保険制度及び後期高齢者医療制度並びにこれらに密接に関連する制度と併せてその在り方に関して常に検討を加えられ、その結果に基づき、医療保険の運営の効率化、給付の公平性の向上、費用負担の適正化並びに国民が受ける医療の質の向上を図ることを旨とし、実施されなければならない。

「被保険者」とは、適用事業所に使用される者（以下「被保険者」という。）及び、次の各号のいずれかに該当する者（以下「被保険者」という。）をいう。

（一）被保険者となる者（以下「被保険者」という。）

（二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（二十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（三十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（四十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（五十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（六十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（七十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（八十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十一）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十二）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十三）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十四）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十五）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十六）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十七）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十八）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（九十九）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

（百）被保険者となる者の家族（以下「被保険者」という。）

学ぶべき要点をていねいに解説

図表を用いてポイントをわかりやすく整理

最終改正に対応

法令の関連部分をコンパクトに掲載

診断書を作成される医師のための 障害年金と診断書

(障害基礎年金・障害厚生年金)

| 令和 8 年度版 | 6 月発刊予定 |
|---|---------|
| 企画・製作 社会保険研究所 発行所 年友企画株式会社 | |
| 定価 本体 2,500 円+税 (税込 2,750 円) B5判 2色 約280頁 | |
| 本冊子は、取次・書店経由のお取次はできません。 | |
| 商品 No.170826 | |



診断書を書かれる医師に必携の書

- 障害年金（障害基礎年金・障害厚生年金）では、支給対象となる障害の程度は「障害認定基準」に基づいて審査が行われ、その際障害の部位によって定められた8種類の「診断書」をはじめ、必要な書類を提出する必要があります。本書は、この「診断書」の記載を標準化させるために作成されたものです。
- 本書は、最新の診断書の様式を使用して具体的な例をまじえながら、[障害給付の概要](#)、その[診断書の意義](#)および[記載上の留意点](#)などを解説しています。令和4年1月1日実施の障害認定基準の改正事項（眼の障害）も収載しています。


| 本書の構成（予定） | |
|--|---|
| 目次 ○診断書を作成される医師の皆様へ 1.障害基礎年金・障害厚生年金の概要 2.障害基礎年金・障害厚生年金と診断書 3.障害の認定要領と診断書 | 4.診断書記載事例 5.参考資料 付1 障害年金の請求 付2 障害年金受給中の手続き |



医科点数表Q & A 集

令和5年4月版

B5判2色1,112頁／定価：本体8,000円+税（税込8,800円）／ISBN978-4-7894-0711-3 C3047 ¥8000E
商品No.160701



電子処方箋・オンライン資格確認Q & A

令和5年4月版
附／医療情報・システム基盤整備体制充実加算の解説


B5判2色524頁／定価：本体3,500円+税（税込3,850円）／ISBN978-4-7894-1628-3 C2047 ¥3500E
商品No.160271



公費医療・難病医療ガイド

令和5年10月・令和6年4月改正対応版


B5判2色516頁／定価：本体4,500円+税（税込4,950円）／ISBN978-4-7894-7896-0 C3047 ¥4500E
商品No.160414



医療・介護 高額ガイド

令和5年4月版
附／オンライン資格確認による限度額情報取得と診療報酬

B5判2色(資料等1色)616頁／定価：本体4,000円+税(税込4,400円)／ISBN978-4-7894-1637-5 C3047 ¥4000E
商品No.160402



中小医療機関のための BCP策定マニュアル

(令和2年3月発刊)

B5判2色160頁／定価：本体2,200円+税（税込2,420円）／ISBN978-4-7894-0620-8 C3047 ¥2200E
商品No.160230

受注制作書籍（2冊）のご案内

- ※注文フォーム (<https://form.run/@shaho-v3e0BOC9HzM0EqYOjQBd>) からのご注文となります。
- ※他の書籍とは別の発送となります。
- ※受注後の制作のため、お届けまでに2～4週間程度のお時間がかかります。
- ※「毎月1日から15日までのご注文→月末頃の発送」、「毎月16日から月末までのご注文→翌月中頃の発送」となります（商品は、出来次第発送となり、日時指定はご利用いただけません）。

診療報酬年表

診療報酬改定をめぐる中医協等の推移

| 昭和 22 年～令和 4 年 3 月 | 令和 5 年 9 月発刊 |
|---------------------------------------|--------------|
| 制作・発行 株式会社医薬情報研究所／編集 アーカイブス制作班 | |
| 定価 本体 9,000 円+税 (税込 9,900 円) B5判 192頁 | |
| 商品 No.100950 | |



中医協発足当初から、診療報酬体系確立、甲・乙表一本化の流れがわかる！ 手元に置いておきたい昭和・平成・令和をつらぬく貴重な資料

- [昭和25年4月の中央社会保険医療協議会の発足経緯](#)から、[令和4年4月の診療報酬改定まで](#)の、中医協で進められた診療報酬改定を巡る動向や関連審議会、診療報酬と関連する健康保険法等改正などの制度改革の流れのほか、当時の内閣や旧厚生省、厚生労働省の人事（一部）などを時系列で整理した年表です。

薬事行政年表

薬事行政、薬価基準制度の軌跡

| 昭和 23 年～令和 4 年 3 月 | 令和 5 年 9 月発刊 |
|---------------------------------------|--------------|
| 制作・発行 株式会社医薬情報研究所／編集 アーカイブス制作班 | |
| 定価 本体 9,000 円+税 (税込 9,900 円) B5判 320頁 | |
| 商品 No.120950 | |



昭和23年(薬事法制定)から令和4年3月(新型コロナウイルス感染症対策)まで掲載

- 医療、医薬品にまつわる制度・政策（薬価制度、薬事行政）について[法制定・改正](#)、[医療体制を中心とする年表](#)です。
- [厚生省に薬務局が設置され薬事法が制定された昭和23年から](#)、[新型コロナウイルス感染症対策などが打ち出された令和4年3月までの](#)医療、医薬品にまつわる制度・政策（薬価制度・薬務行政）について、法制定・改正、医療体制を中心に時系列でまとめた年表です。

データベース商品 / 令和8年版

| 内容 | 商品名 | 概要 |
|-----------|---------------------------------|---|
| 保険者情報 | 保険証等番号表データベース | 保険者・公費負担者の番号、記号、住所、電話番号など |
| 適応疾患・算定情報 | 検査と適応疾患データベース | 診療行為コードごとの検査・病理診断の算定情報／適応疾患、臨床的意義、検体、関連検査、告示・通知、記載要領など |
| | 処置・手術の適応疾患及び特定保険医療材料データベース | 診療行為コードごとの処置・手術の算定情報／適応疾患、手技に使用する特定保険医療材料及びその使用量、告示・通知、記載要領など |
| | 医薬品別適応傷病名データベース | 医薬品コードごとの適応症／添付文書に記載されている適応傷病名を細分化して傷病名コードで収録 |
| | 特材算定データベース | 特定器材コードごとの特定保険医療材料の算定情報／適応疾患、関連手技、解説、告示・通知など |
| +製品情報 | 特材品目・算定データベース | 特定保険医療材料の品目情報・算定情報／品目ごとの製品情報（製品名、規格、特定器材コードなど）、特定器材コードごとの算定情報（適応疾患、関連手技、解説、告示・通知など） |
| その他情報 | 向精神薬（長期処方減算／多剤投与）・一般名処方加算データベース | 医薬品コードごとに点数表に規定されている下記の加算・減算が対象となるものについてフラグ付け及び付加情報を付記したもの（向精神薬多剤投与・向精神薬長期処方減算、一般名処方加算） |
| | 併用禁忌データベース | 医薬品コードごとの併用禁忌情報／添付文書から併用禁忌及び併用禁忌・原則併用禁忌に該当すると判断した内容を医薬品コード対医薬品コードで収録 |
| | 病名禁忌データベース | 医薬品コードごとの病名禁忌情報／添付文書の禁忌欄に掲載されている病名を傷病名コードで収録 |
| | 重複チェックデータベース | 医薬品コードごとの成分データ、薬効データ。処方された薬剤が複数ある場合に成分や薬効での重複をチェックできる |

介護報酬・障害報酬関連図書



別冊：介護報酬の解釈
障害福祉サービス報酬の解釈

人材確保のための 介護・障害 処遇改善の改正点 令和8年6月版

B5判 約300頁／定価：本体3,600円＋税（税込3,960円）
ISBN978-4-7894-0507-2 C3047 ¥3600E
商品No.110431

令和8年の人材確保に向けた処遇改善の施策等にしっかり対応！
「介護」も「障害」もこの1冊に集約！
令和8年度における実施制度を読み解くために、
ぜひ、お役立てください

令和8年
4月下旬
発刊予定



介護報酬の解釈 ①単位数表編 令和6年4月版

好評発売中

B5判 1,520頁／定価：本体5,200円＋税（税込5,720円）
ISBN978-4-7894-0504-1 C3047 ¥5200E / 商品No.110428

必要な情報を見開きで配置、一覧性に優れた定本
令和6年4・6月報酬改定後の全容を提示



介護報酬の解釈 ②指定基準編 令和6年4月版

好評発売中

B5判 1,408頁／定価：本体4,800円＋税（税込5,280円）
ISBN978-4-7894-0505-8 C3047 ¥4800E / 商品No.110429

指定基準と関係通知を集成した基本書
条例制定や事業所・施設運営の一助に



介護報酬の解釈 ③Q A・法令編 令和6年4月版

好評発売中

B5判 1,296頁／定価：本体4,800円＋税（税込5,280円）
ISBN978-4-7894-0506-5 C3047 ¥4800E / 商品No.110430

厚生労働省発出のQ & Aをサービス別に整理して収載
関係法令も集成、さらに実務に精通するための1冊



障害福祉サービス報酬の解釈 令和6年4月版

好評発売中

B5判 1,632頁／定価：本体4,800円＋税（税込5,280円）
ISBN978-4-7894-1735-8 C3036 ¥4800E / 商品No.160424

単位数表・指定基準からQ Aまで すべての情報をこの1冊に集約
制度の全体像を解説、単位数表と指定基準は通知と組み合わせで掲載

令和8年 発刊予定一覧

| 発刊時期 | 書 籍 名 | 頁 | 定 価 |
|------|-------------------------|----|-------------|
| 1月 | 医療DX キーワードと関連診療報酬 一問一答 | 36 | 本体2,200円＋税 |
| | 医療情報システム入門 | 37 | 本体3,600円＋税 |
| 告示後 | 診療報酬点数表 改正点の解説 医科・調剤 | 6 | 本体5,200円＋税 |
| | 診療報酬点数表 改正点の解説 歯科 | 8 | 本体3,000円＋税 |
| 3月 | 薬価基準点数早見表 | 13 | 本体3,800円＋税 |
| | 保険薬事典Plus ⁺ | 26 | 本体4,800円＋税 |
| 4月 | 診断群分類点数表 DPC改正点の解説 | 9 | 本体6,500円＋税 |
| | 医科診療報酬点数表 | 10 | 本体3,100円＋税 |
| | 歯科診療報酬点数表 | 12 | 本体2,400円＋税 |
| | 薬効・薬価リスト | 24 | 本体6,700円＋税 |
| | 投薬禁忌リスト | 25 | 本体4,400円＋税 |
| | 特材算定ハンドブック | 29 | 本体5,400円＋税 |
| | レセプト作成テキストブック | 38 | 本体4,000円＋税 |
| | 保険診療 基本法令テキストブック | 39 | 本体2,800円＋税 |
| | 人材確保のための 介護・障害 処遇改善の改正点 | 45 | 本体3,600円＋税 |
| 5月 | 検査と適応疾患 | 28 | 本体3,400円＋税 |
| | 新明細書の記載要領 | 32 | 本体3,600円＋税 |
| | 保険者、公費負担者 番号・記号表 | 33 | 本体10,000円＋税 |
| 6月 | 医科点数表の解釈 | 14 | 本体6,800円＋税 |
| | 歯科点数表の解釈 | 19 | 本体5,200円＋税 |
| | 調剤報酬点数表の解釈 | 20 | 本体4,800円＋税 |
| | DPC電子点数表 診断群分類点数表のてびき | 21 | 本体8,000円＋税 |
| | 訪問看護業務の手引 | 34 | 本体4,200円＋税 |
| | DPCの基礎知識 | 40 | 本体1,800円＋税 |
| | 障害年金と診断書 | 42 | 本体2,500円＋税 |
| 7月 | 施設基準等の事務手引 | 22 | 本体6,200円＋税 |
| | 処置・手術と適応疾患&特定保険医療材料 | 30 | 本体6,000円＋税 |
| | 療養費の支給基準 | 35 | 本体3,600円＋税 |
| | 事例で学ぶ 歯科レセプト 作成と点検 | 41 | 本体4,600円＋税 |
| 8月 | ジェネリック医薬品リスト | 27 | 本体3,600円＋税 |
| 10月 | 看護関連施設基準・食事療養等の実際 | 23 | 本体5,200円＋税 |
| | 診療報酬とカルテ記載 | 31 | 本体4,500円＋税 |

制度改正の動向を **日々更新中!**
制度・実務に強い, 医療・介護の情報提供サイト

登録会員
募集中!
(無料)

社会保険旬報

Web **医療と介護**



会員登録(無料)をお願いします!

最新のニュースをお届けするため、「Web医療と介護」への
会員登録(無料)をおすすめします。

会員登録はこちらから →

